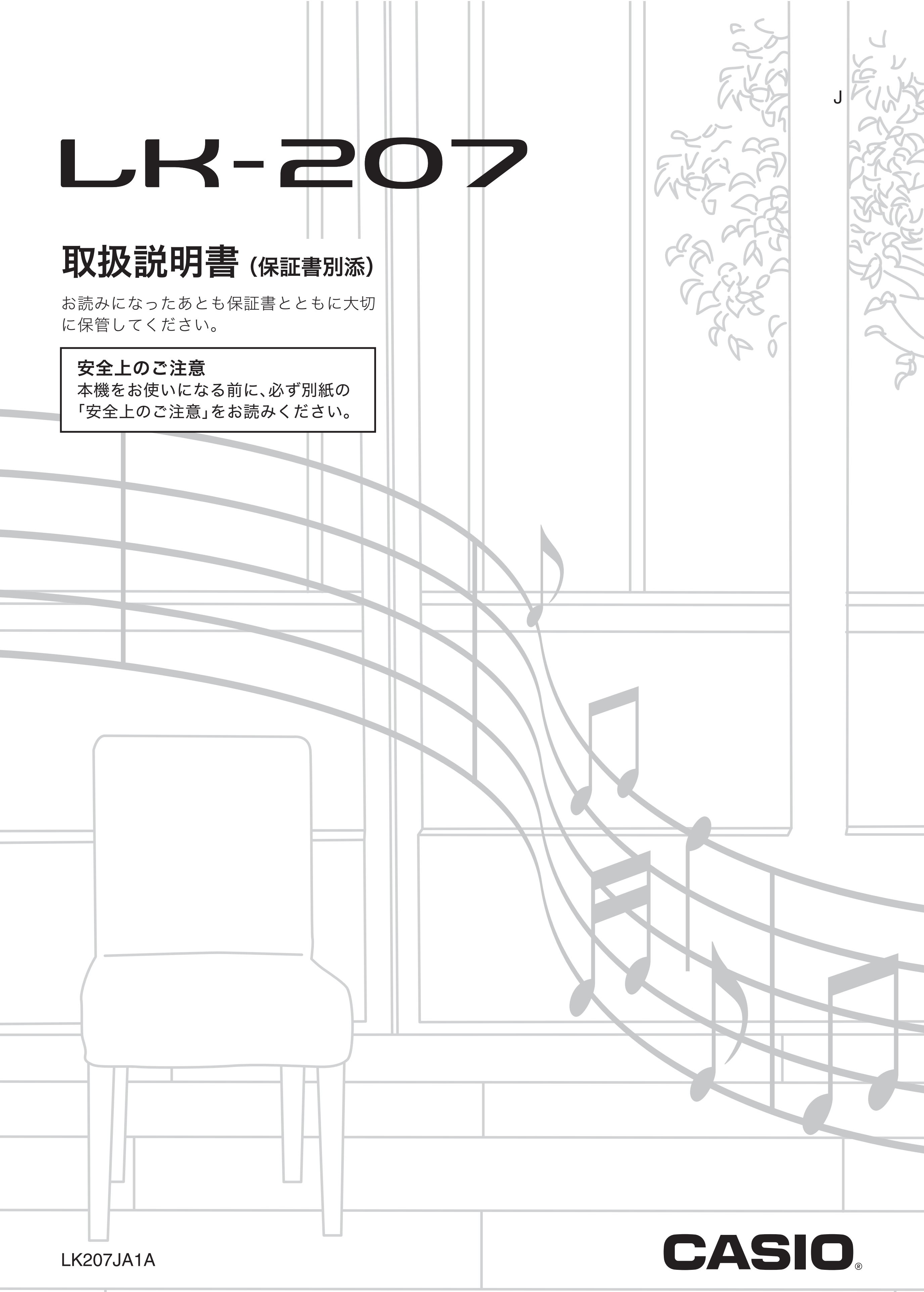
J

LK-207

取扱説明書（保証書別添）

お読みになったあとも保証書とともに大切に保管してください。

安全上のご注意
本機をお使いになる前に、必ず別紙の「安全上のご注意」をお読みください。



LK207JA1A

CASIO®

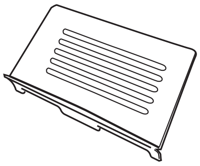
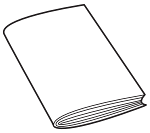
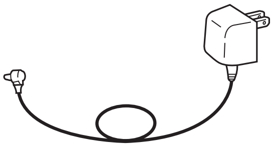
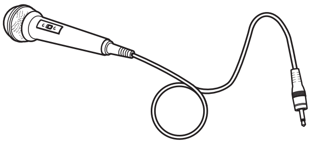
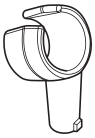
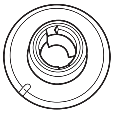
本書の内容について

- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不明な点や誤りなど、お気付きの点がございましたらご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本書および本機の使用により生じた損失、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- 本書に記載されている社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標および商標です。

■JIS C 61000-3-2適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

付属品一覧

 譜面立て	 楽譜集（2冊） 歌詞集（1冊）	 ACアダプター：AD-5JL
 マイク	 マイクホルダー	 マイクホルダーベース
リーフ類 • カシオ電子楽器保証書 • 安全上のご注意 • お客様ご相談窓口 • Appendix • その他		

- 欠品、破損、紛失等の場合は、ご購入された販売店にお問合わせください。（ACアダプターは別売品で購入可能）
- 付属品のデザインと内容は、予告なく変更されることがあります。

別売品のご案内

商品名	品番
ヘッドホン	CP-16
サスティンペダル	SP-3
	SP-20
マイク	DM-3
ハンズフリーマイク	HM-1000
ACアダプター	AD-5JL

商品名	品番
ソフトケース	SC-550B
スタンド	CS-4B
	CS-7W
イス	CB-5
	CB-7
	CB-30

- カシオ電子楽器取扱店で購入可能。
- 別売品の内容は、予告なく変更されることがあります。詳しくは店頭のカシオ電子キーボードカタログをご覧ください。
  http://casio.jp/emi/catalogue

目次

全体ガイド 4

数字、[－]、[＋]ボタン(⑱)の使いかた 6

機能ボタン(㉙)について 6

演奏の準備 7

譜面立て、マイクの準備 7

電源の準備 8

ご使用上の注意 9

演奏してみよう 10

電源を入れて演奏してみよう 10

ヘッドホンを使う 11

鍵盤を押す強弱で音量を変える（タッチレスポンス） 11

鍵盤の光を消す 12

液晶画面のコントラストを調整する 12

パッドを鳴らしてみよう(ボイスパッド) 13

メトロノームを使ってみよう 14

音を変えて弾いてみよう 15

いろいろな楽器の音色で弾いてみよう 15

2 つの音色を重ねてみよう(レイヤー) 16

鍵盤の高音域と低音域で音色を変えてみよう(スプリット) 16

響くような音で弾いてみよう(リバーブ) 17

音に厚みをつけてみよう(コーラス) 18

ペダルを使ってみよう 18

音の高さを変えて弾いてみよう（トランスポーズ、チューニング、オクターブシフト） 19

好きな音を記録して弾いてみよう(サンプリング) 20

接続と準備 20

音を記録してメロディーを弾いてみよう（メロディーサンプリング） 21

音を記録してドラムセットに組み込んでみよう(ドラムサンプリング) 23

サンプリング機能を使いこなそう 25

ソング(内蔵曲)を鳴らそう ... 27

デモを聴いてみよう 27

ソングを 1 曲ずつ聴いてみよう 27

ソングに合わせてマイクで歌おう（カラオケ機能） 30

ソングを増やす(ユーザーソング) 30

ソング(内蔵曲)で曲をマスターしよう 31

フレーズについて 31

ステップアップレッスンの流れ 31

練習するソング、フレーズ、パートを選ぶ 32

レッスン 1 ～ 3 をはじめよう 33

レッスン中のさまざまな設定 34

自動的にレッスンを進めてみよう －自動ステップアップレッスン－ 36

鍵盤ゲーム（ミュージックチャレンジ）....37

自動伴奏をバックに演奏しよう....38

リズムパートだけを鳴らそう....38
すべてのパートを鳴らしてみよう....39
自動伴奏を使いこなそう....41
お勧めの音色やテンポにする（ワンタッチプリセット）....42
メロディーの音に和音をつけてみよう（オートハーモナイズ）....43

演奏を録音してみよう（レコーダー）....44

演奏を録音・再生する....44
パートごとに重ねて録音する・選んで再生する....45
2 曲以上録音する・選んで再生する....46
ソング（内蔵曲）と一緒に演奏して録音する....46
録音したデータを外部機器に保存する....47

本機をさらに使いこなすには....48

鍵盤の音律（スケール）を変えてみる....48
ミュージック プリセット....49
アルペジオのフレーズを自動的に鳴らす（アルペジエーター）....49
ユーザーソングのデータを消去する....50
本機に記録されているデータをまとめて消去する....51

メモリーカードを使用する....52

SD メモリーカードとカードスロットの取り扱い上のご注意....52
SD メモリーカードを入れる／取り出す....53
SD メモリーカードをフォーマットする....53
本機のデータを SD メモリーカードに保存する....54
SD メモリーカードのデータを本機に読み込む....55
SD メモリーカードのデータを消去する....56
SD メモリーカードのソングデータを再生する....57
SD メモリーカードのエラー表示について....57

他の外部機器と接続する....58

パソコンとの接続....58
各種 MIDI 設定....59
本機のデータをパソコンに保存する／本機のソングを増やす....60
オーディオ機器とつなぐ....61

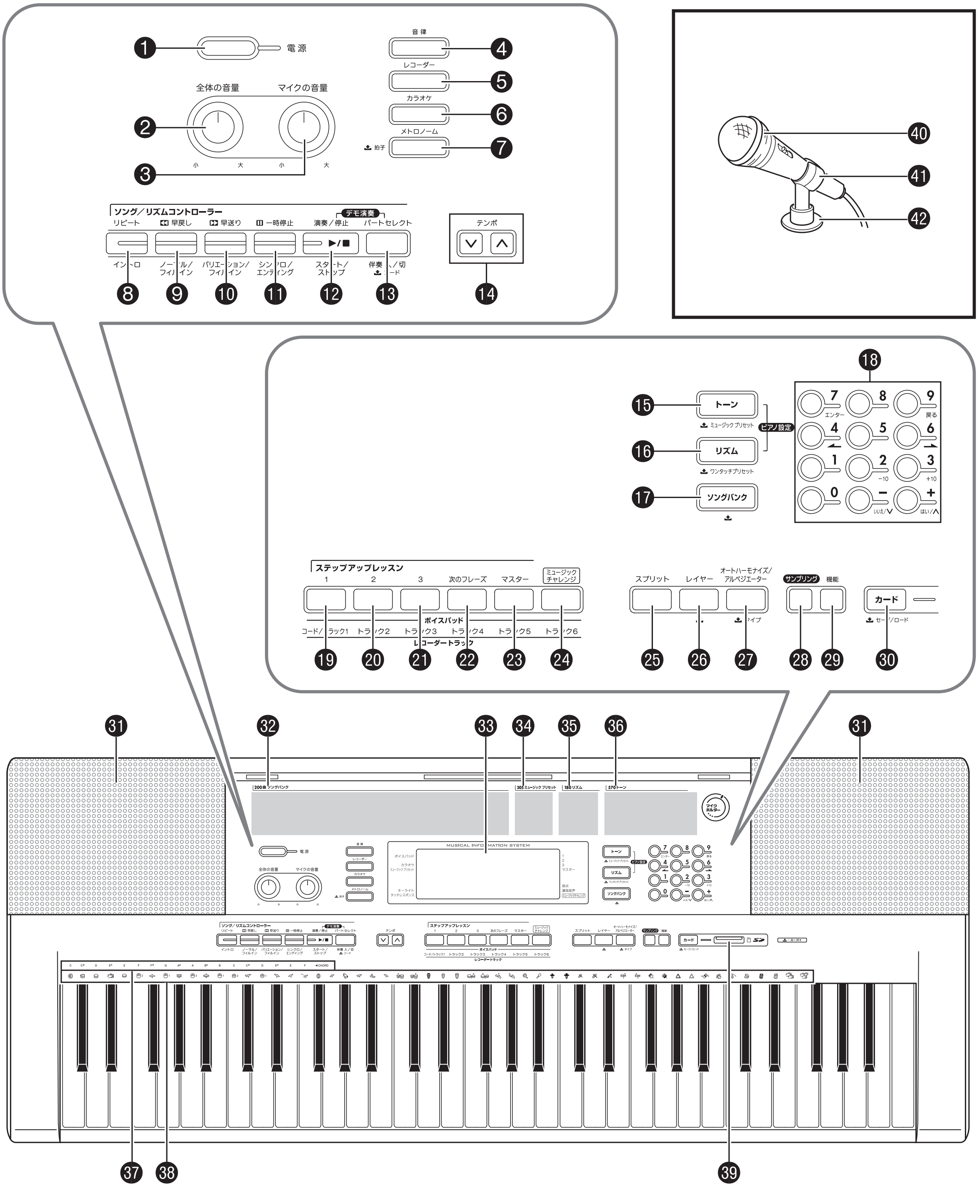
資料....62

困ったときは....62
製品仕様....64
エラーメッセージ一覧....66
ソングリスト....67
コード例一覧....69
保証・アフターサービスについて....70

MIDI インプリメンテーション・チャート

全体ガイド

• 本書の操作説明では、ボタンやつまみなどを番号で表現します。



- ☞マークの数字は参照ページです。

❶ **電源**ボタン ☞10, 26, 45, 61

❷ **全体の音量**つまみ ☞10

❸ **マイクの音量**つまみ ☞20, 30

❹ **音律**ボタン ☞48

❺ **レコーダー**ボタン ☞44, 45, 46, 47

❻ **カラオケ**ボタン ☞30

❼ **メトロノーム、拍子**ボタン ☞14

❽ **リピート、イントロ**ボタン ☞28, 34, 41

❾ **早戻し、ノーマル／フィルイン**ボタン ☞28, 32, 38, 41

❿ **早送り、バリエーション／フィルイン**ボタン ☞28, 32, 41

⓫ **一時停止、シンクロ／エンディング**ボタン ☞28, 41, 42

⓬ **演奏／停止、スタート／ストップ**ボタン ☞27, 28, 29, 30, 33, 34, 38, 44, 45, 46, 47, 57

⓭ **パートセレクト、伴奏　入／切、コード**ボタン ☞27, 29, 32, 34, 39, 43, 47, 59

⓮ **テンポ**ボタン ☞14, 29, 42

⓯ **トーン、ミュージック プリセット**ボタン ☞10, 15, 21, 22, 23, 24, 26, 49

⓰ **リズム、ワンタッチプリセット**ボタン ☞13, 15, 22, 23, 24, 38, 42, 44, 46, 48

⓱ **ソングバンク**ボタン ☞27, 29, 32, 37, 46

⓲ **数字ボタン、－／＋**ボタン ☞6

⓳ **レッスン1、パッドセットセレクト、コード／トラック1**ボタン ☞13, 22, 33

⓴ **レッスン2、ボイスパッド1、トラック2**ボタン ☞13, 22, 33, 45

㉑ **レッスン3、ボイスパッド2、トラック3**ボタン ☞13, 22, 34, 45

㉒ **次のフレーズ、ボイスパッド3、トラック4**ボタン ☞13, 22, 32, 45

㉓ **マスター、ボイスパッド4、トラック5**ボタン ☞13, 22, 36, 45

㉔ **ミュージックチャレンジ、ボイスパッド5、トラック6**ボタン ☞13, 22, 37, 45

㉕ **スプリット**ボタン ☞16, 17

㉖ **レイヤー**ボタン ☞16, 19

㉗ **オートハーモナイズ／アルペジエーター、タイプ**ボタン ☞43, 49, 50

㉘ **サンプリング**ボタン ☞21, 22, 23, 24

㉙ **機能**ボタン ☞6

㉚ **カード、セーブ／ロード**ボタン ☞53, 54, 55, 56, 57

㉛ スピーカー

㉜ ソングバンクリスト

㉝ 液晶画面

㉞ ミュージック プリセットリスト

㉟ リズムリスト

㊱ トーンリスト

㊲ コードルート音名 ☞39

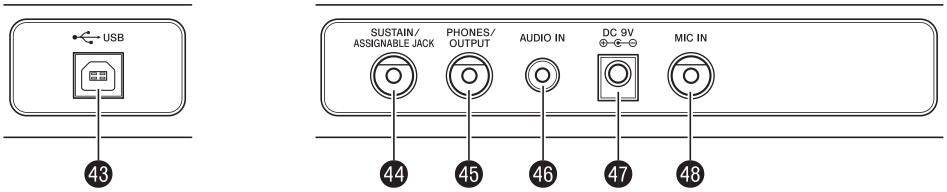
㊳ 打楽器イラスト ☞15

㊴ **SDメモリーカードスロット** ☞53

㊵ マイク ☞7

㊶ マイクホルダー ☞7

㊷ マイクホルダーベース ☞7



㊸ **USB**ポート ☞58

㊹ **サスティン／アサイナブル**端子 ☞18

㊺ **ヘッドホン／アウトプット**端子 ☞11, 61

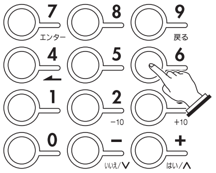
㊻ **オーディオ入力**端子 ☞20, 61

㊼ 電源端子（**DC 9V**）☞8

㊽ **マイク入力**端子 ☞20

数字、[−]、[+]ボタン(⑱)の使いかた

液晶画面の左上に表示されている番号などを変更します。



数字ボタン

数字ボタンを押すと、選びたい番号や数値を入力できます。
- 入力するときは、表示されている数値と同じ桁数を入力します。
  例: 音色番号001を選ぶ場合は“0”→“0”→“1”と入力する。

メモ

- 負(マイナス)の値は、数字ボタンでは入力できません。[−]または[+]ボタンで入力してください。

[−]、[+]ボタン

[−]または[+]を押すと、表示されている番号や数値を1つずつ増減させます。
- ボタンを押し続けると番号や数値が連続して増減します。
- 両方のボタンを同時に押すと初期値、またはお勧めの数値になります。

機能ボタン(㉙)について

この楽器では音の響き方を調整したり、保存したデータを消去するなどのさまざまな機能が、機能ボタン(㉙)に搭載されています。

機能を選ぶには

1. ㉙を押します。
液晶画面の左上に、機能名が表示されます。
- もう一度㉙を押すと、元の表示に戻ります。

2. ⑱(数字、−+ボタン)の[4](◀)または[6](▶)を押して、以下の表の1〜12のなかから機能を選びます。
- 8〜12を選んだ場合は、さらに⑱(数字、−+ボタン)の[7](エンター)を押して、[4](◀)または[6](▶)でサブ機能を選びます。[9](戻る)を押すと、[7](エンター)を押す前の画面に戻ります。
- 選んだ機能の詳細については、以下の表に書かれた参照ページをご参照ください。
- 機能を選んだ後、⑱(数字、−+ボタン)の[2](−10)または[3](+10)を押して、表示されている番号や数値を10ずつ増やしたり減らしたりできます(以下の表の“12 データの消去”を除く)。

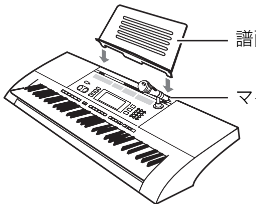
	機能名	表示	参照ページ
1	トランスポーズ	トランスポース	19
2	自動伴奏の音量	バンソウVol	42
3	ソングの音量	キョクVol.	29
4	タッチレスポンス	タッチ	12
5	チューニング	チューニング	19
6	リバーブ	リバーブ	17
7	コーラス	コーラス	18
8	サンプリング	サンプリング	
	サンプリング自動スタート	オートスタート	25
	サンプリング自動ストップ	オートストップ	25
	サンプリング音色プロテクト	(プロテクト)	26
9	ステップアップレッスン	レッスンセッテイ	
	運指音声	ウンシオンセイ	34
	弾くべき音のガイド	サウンドナビ	35
	採点	サイテン	35
	フレーズの長さ	フレーズチョウ	35
10	その他の設定	ソノタセッテイ	
	アルペジエーターホールド	アルペジオ	50
	ペダルの効果	ジャック	18
	自動伴奏スケール	オンリツバンソ	48
	液晶画面のコントラスト	コントラスト	12
	電源切り忘れお知らせ機能	デモ2	10
11	MIDI設定	MIDIセッテイ	
	キーボードチャンネル	キー チャンネル	59
	ナビゲートチャンネル	ナビチャンネル	59
	ローカルコントロール	ローカル	60
	アカンプアウト	アカンプアウト	60
12	データの消去	ショウキョ	
	サンプリング音色の消去	(音色名)	26
	ユーザーソングの消去	(曲名)	50
	すべてのデータの消去	ゼンショウキョ	51

重 要

- **音色などの各種設定は、本機の電源を入れなおすと初期値に戻ります。**

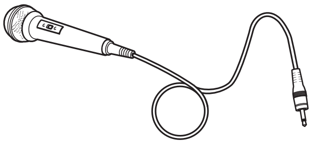
演奏の準備

譜面立て、マイクの準備

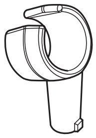


マイクの取り付けかた

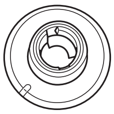
1. 付属品のマイク、マイクホルダー、マイクホルダーベースを確認してください。



マイク

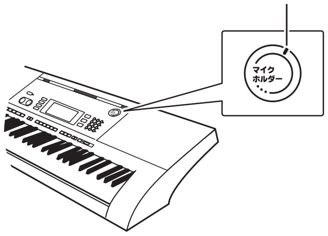


マイクホルダー



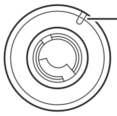
マイクホルダーベース

2. 本機の右上側にある「マイクホルダー」と書かれた部分を柔らかい布などでふいて、汚れを落とします。



3. マイクホルダーベースの裏面の紙をはがして、本機の手順２の図の場所に貼り付けます。

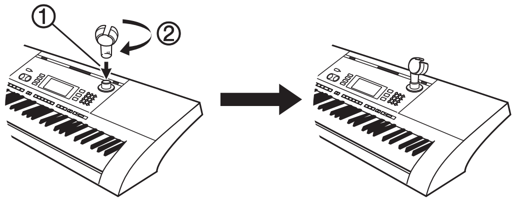
このときマイクホルダーベースのマーク（下図）が、手順２の図の貼り付け方向指示マークにあうように貼り付けてください。



4. 30分～1時間ほど力を加えずにそのまま置いてください。

この間に力を加えると、はがれやすくなりますのでご注意ください。

5. マイクホルダーの凸部をマイクホルダーベースに差し込み（下図①）、右回りに回します（下図②）。



6. マイクをマイクホルダーに差し込んで固定します。

- マイクのケーブルをマイクホルダーに通してから、マイク本体を差し込んでください。

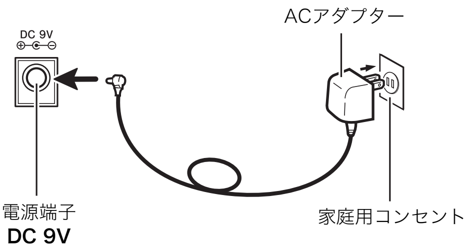
電源の準備

この楽器は電源としてACアダプターまたは乾電池をご使用できます。

ACアダプターを使う場合

家庭用コンセントで使うときは、本機指定のACアダプターを接続してください。

ACアダプターの型式：AD-5JL



重 要

- **家庭用コンセントや電源端子からACアダプターを抜き差しする前には、必ず本機の電源を切ってください。**

■本機に記録したデータの保持について

乾電池を入れずにACアダプターだけで使用している場合は、ACアダプターの接続が切れると本機に記録した内容（サンプリングした音など）がすべて消去されます。

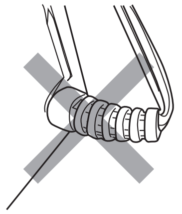
記録した内容を保つためには

- 乾電池とACアダプターの両方をご使用ください。
- ACアダプターを抜くときは、消耗していない乾電池（使用推奨期限内）を入れておいてください。
- 乾電池交換は、ACアダプターを接続した状態で行ってください。

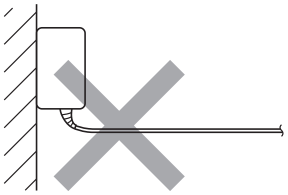
コード部の断線防止のため、次の点にご注意ください。

<使用時>

- コードを強く引っ張らない
- コードを繰り返し引っ張らない
- コードの根元部分を折り曲げない



- コードをピンと張った状態で使用しない

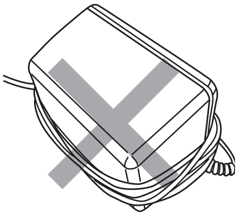


<移動時>

- 本機を移動させるときは、必ずACアダプターをコンセントから外す

<保管時>

- コードは図のようにACアダプター本体に巻き付けず、束ねてまとめる

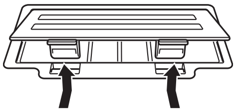


乾電池を使う場合

重 要

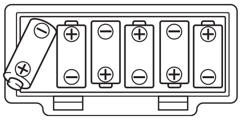
- **乾電池を入れる前に、必ず本機の電源を切ってください。**
- **乾電池は市販の単1形乾電池をご使用ください(オキシライド乾電池などのニッケル系一次電池は使用しないでください)。**

1. 本機の裏側にある電池ブタをはずします。

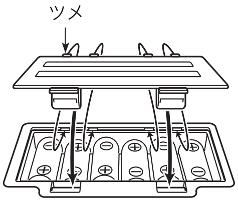


2. 市販の単1形乾電池、6本を電池ケースに入れます。

イラストに合わせて⊕⊖の向きを間違えないように入れてください。

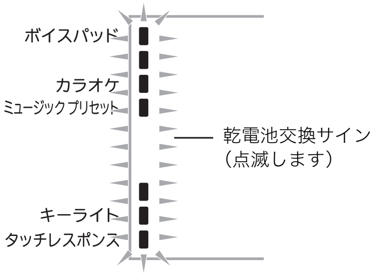


3. 電池ケースの穴にツメを差し込み、電池ケースのフタを閉じます。



■乾電池交換時期のお知らせ表示

乾電池が消耗してくると以下の表示が点滅しますので、新しい乾電池と交換してください。



ご使用上の注意

別紙「安全上のご注意」と併せてお読みください。

■設置上のご注意

本機を次のような場所に設置しないでください。

- 直射日光のあたる場所、温度の高い場所。
- 極端に温度の低い場所。
- ラジオや、テレビ、ビデオ、チューナーに近い場所(これらを近くに置いた場合、本機には特に障害はありませんが、近くに置いたラジオやテレビの側に雑音や映像の乱れが起こることがあります)。

■本機のお手入れについて

- お手入れにベンジン、アルコール、シンナーなどの化学薬品は使わないでください。
- 鍵盤などのお手入れは柔らかな布を薄い中性洗剤液に浸し、固く絞ってお拭きください。

■付属品・別売品

付属品や別売品は、本機指定のものをご使用ください。指定以外のものを使用すると、火災・感電・けがの原因となることがあります。

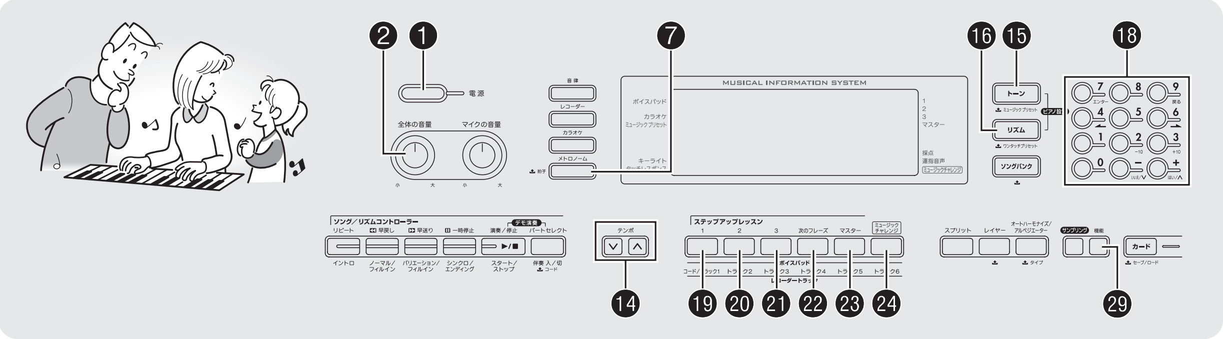
■ウエルドライン

外観にスジのように見える箇所がありますが、これは、樹脂成形上の"ウエルドライン"と呼ばれるものであり、ヒビやキズではありません。ご使用にはまったく支障ありません。

■音のエチケット

楽しい音楽も時と場合によっては気になるものです。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。周囲に迷惑のかからない音量でお楽しみください。窓を閉めたり、ヘッドホンを使用するのもひとつの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

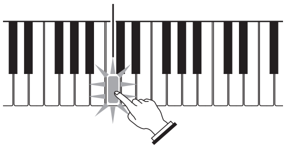
演奏してみよう

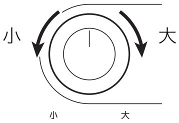


電源を入れて演奏してみよう

1. ❶を押します。
電源が入ります。

2. 鍵盤を弾いてみましょう。また❷で音量の調整をしましょう。





重要

- **本機の電源を切ると、音色やリズム番号などの各種設定が初期化されます（サンプリング音色のプロテクト設定を除く）。**

オートパワーオフ機能（乾電池使用時のみ）

本機を乾電池で使用しているとき、6分間何も操作しないと無駄な消費電力を防ぐため自動的に電源が切れます（ACアダプター使用時は、この機能は作動しません）。

■オートパワーオフ機能をキャンセルして使う

コンサートなどで演奏の合間に電源が切れないよう、オートパワーオフ機能をキャンセルして使用できます。

1. ⓯（トーン）を押しながら電源を入れます。
オートパワーオフ機能がキャンセルされて電源が入ります。

電源切り忘れお知らせ機能（ACアダプター使用時のみ）

ACアダプターで使用中に6分間何も操作しないと、電源切り忘れ防止のために鍵盤が光ります（乾電池使用時は、この機能は作動しません）。

■電源切り忘れお知らせ機能をオフにする

コンサートなどで演奏の合間に鍵盤が光らないよう、お知らせ機能をオフにして使用できます。

1. ㉙を押して、⓲（数字、－＋ボタン）の[4]（◀）または[6]（▶）を使って液晶画面に“ソノタセッテイ”と表示させます（6ページ）。

2. ⓲（数字、－＋ボタン）の[7]（エンター）を押します。

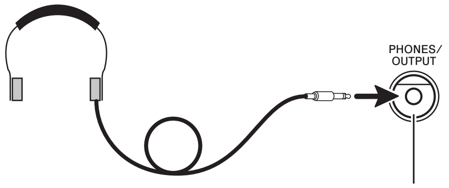
3. ⓲（数字、－＋ボタン）の[4]（◀）または[6]（▶）を使って液晶画面に“デモ2”と表示させます。

4. ⓲（数字、－＋ボタン）の[－]を押して、オフに設定します。

ヘッドホンを使う

ヘッドホンを使用すると内蔵スピーカーから音が出なくなり、夜間でも周囲に気兼ねなく演奏が楽しめます。

- 本機の音量を絞ってから、ヘッドホンを接続してください。



ヘッドホン／アウトプット端子

メモ

- ヘッドホンは本製品に付属されておりません。
- 別売または市販のヘッドホンがご使用になれます。

重 要

- **大きな音量で長時間ヘッドホンを使用しないでください。聴覚障害になる恐れがあります。**
- **ヘッドホンのコードを本機から抜くときは、変換プラグだけを本機に残さないようにご注意ください。**
- **ヘッドホンのプラグの形状が端子にあわない場合は、市販の変換プラグをご使用ください。**

鍵盤を押す強弱で音量を変える（タッチレスポンス）

タッチレスポンス機能とは、鍵盤を押す強さ（速さ）で音量を変化させる機能です。タッチレスポンス機能を使うと本物のピアノのように鍵盤を押す強さ（速さ）で音量が変化し、演奏の表現が豊かになります。

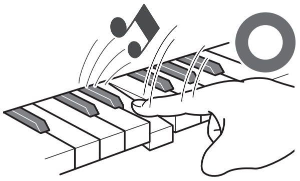
鍵盤楽器の音の強弱について

■ 音の強弱は鍵盤を押す速さで決まります

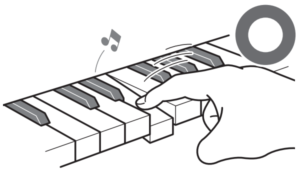
一般的に、ピアノは鍵盤を強く押すと音が大きく出ると考えられていますが、実は音の強弱は鍵盤を押す速さで決まります。つまり、鍵盤をすばやく押すと大きな音になり、ゆっくり押すと小さな音になります。このことを意識して演奏すると、指先に必要以上の力を加えることなく音量をコントロールできます。

■ この楽器はピアノと同じような感覚で演奏できます

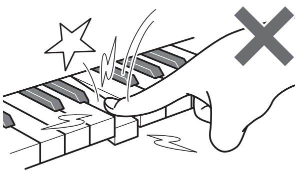
この楽器はピアノの鍵盤を押したときに近い感覚で演奏できるように、鍵盤を押す速さで音量に変化をつけることができます。



すばやく押すと大きな音が出ます



ゆっくり押すと小さな音が出ます



強く押しすぎないようにしましょう

タッチレスポンスの感度を変える

鍵盤を押した速さにより変化する音量の大きさを変えてみましょう。自分の演奏スタイルに合わせた設定で楽しめます。

1. ㉙を押して、⑱（数字、－＋ボタン）の[4]（◀）または[6]（▶）を使って液晶画面に“タッチ”と表示させます（6ページ）。

2. ⑱（数字、－＋ボタン）の[－]または[＋]を押して、タッチレスポンスの感度を下記の3種類から選びます。

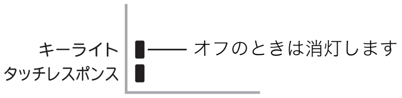
オフ（oFF）	タッチレスポンスを解除します。 鍵盤を押す速度が変化しても音量は一定のままです。
タイプ1（1）	標準的な設定です。
タイプ2（2）	タイプ1より大きな音を出しやすい設定になります。

鍵盤の光を消す

この楽器は演奏や曲の自動演奏などに合わせて鍵盤が光ってガイドする機能がありますが、鍵盤を光らなくさせることができます。

1. 液晶画面に“キーライト”と表示されるまで、㉙を押し続けます。

2. ⑱（数字、－＋ボタン）の[－]を押して、オフに設定します。



液晶画面のコントラストを調整する

1. ㉙を押して、⑱（数字、－＋ボタン）の[4]（◀）または[6]（▶）を使って液晶画面に“ソノタセッテイ”と表示させます（6ページ）。

2. ⑱（数字、－＋ボタン）の[7]（エンター）を押します。

3. ⑱（数字、－＋ボタン）の[4]（◀）または[6]（▶）を使って液晶画面に“コントラスト”と表示させます。

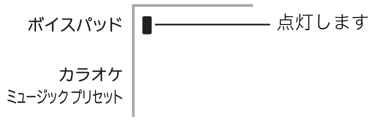
4. ⑱（数字、－＋ボタン）の[－]または[＋]を押して、コントラストを調整します。

- コントラストの設定範囲は01～17です。

パッドを鳴らしてみよう（ボイスパッド）

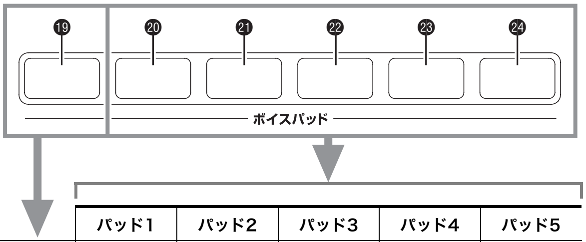
パッドをたたいて、さまざまな効果音や自分で記録した音（「サンプリング」20ページ）を鳴らして楽しめます。パッドを使って演奏をさらに盛り上げましょう。

1. ⑯（リズム）を押します。



2. パッド1～5（⑳～㉔）を押して、音を鳴らしてみましょう。

音の種類には以下の4セット（パッドセット）があります。⑲を押すごとにセット1～4の間で切り替わります。



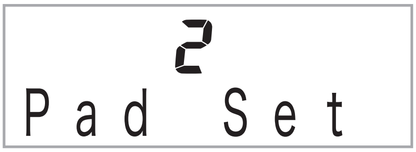
	パッド1	パッド2	パッド3	パッド4	パッド5
セット1	ボイス1（音色571番）※1	ボイス2（音色572番）※1	ボイス3（音色573番）※1	ボイス4（音色574番）※1	ボイス5（音色575番）※1
セット2	セット1の音がいろいろなピッチで鳴る ※2				
セット3	セット1と同じ		セット 1 の音を繰り返す ※3		
セット4	アプローズ	ガンショット	ボンゴ	コンガ	タンバリン

※1：メロディーサンプリング（21ページ）でこれらの音色番号に音を記録したときは、その音でパッドが鳴るようになります。

※2：パッド1：完全5度上、パッド2：完全5度下、
パッド3：セット1と同じ
パッド4：長3度下から鳴りはじめて徐々に上がる
パッド5：1オクターブ上から鳴りはじめて徐々に下がる

※3：パッド3はピッチが徐々に上がる

例：セット2を選んだ場合



メモ

- セット番号の表示中には⑱（数字、－＋ボタン）で番号を変えることもできます。
しばらく何も操作しないと元の表示に戻ります。

記録した音（サンプリング音）をパッドで鳴らす

メロディーサンプリングで音色番号571～575に音を記録すると、セット1～3の音がその記録した音に変わります。メロディーサンプリングの詳細については21ページをご参照ください。

- 記録した音のデータを消去すると、もとの初期音色に戻ります。消去の方法については26ページをご参照ください。

パッドの音量を変える

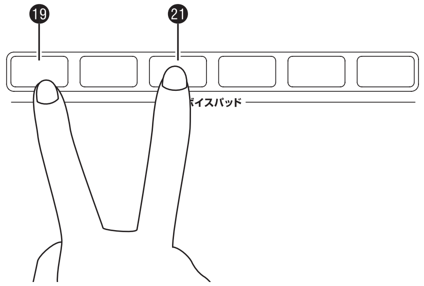
パッドの音量と、それ以外の音量（鍵盤など）のバランスを変えてみましょう。

1. ⑯（リズム）を押します。

2. ⑲を押しながら、音量を変えたいパッドを⑳～㉔のなかから一つ選んで押します。

- これらのボタンを離さずに押したまま、次へ進んでください。

例：㉑（パッド２）を選んだ場合



3. ボタンを押し続けながら、いずれかの鍵盤を押します。

- 鍵盤を押すたびにパッドの音が鳴ります。音を聴きながら、押す速さで音量を調節しましょう。素早く押すほど大きく、ゆっくり押すほど小さくなります。

4. 適度な音量になったら、押し続けていた二つのボタンを離します。

メモ

- 手順2で二つ以上のパッドを選んで、まとめて音量を変えることはできません。

メトロノームを使ってみよう

メトロノームを使うと一定の間隔で音を刻みますので、演奏や練習のときにテンポを正しく保つことができます。自分にあったテンポで練習しましょう。

スタート／ストップ

1. ❼を押します。

メトロノームがスタートします。

2. もう1回❼を押すと、メトロノームが止まります。

拍子を変える

曲の拍子に合わせて1拍目に「チーン」と鳴らし、それ以外の拍では「カチ」と鳴らすことができます。

- 拍子は、0、2、3、4、5、6拍子から選べます。
- ソング（内蔵曲）の演奏中は、その曲の拍子になります。

1. 液晶画面に“ヒョウシ”と表示されるまで、❼を押し続けます。

- しばらく何も操作しないと、元の表示に戻ります。

2. ⓲（数字、－＋ボタン）を押して、拍子の数を入力します。

- 0拍子を選ぶと「チーン」と鳴りません。拍子を気にすることなく練習したいときに使います。

テンポを変える

自分の弾きたいテンポとメトロノームのテンポをあわせます。

1. ⓮を押します。

∨を押すとテンポが遅くなり、∧を押すとテンポが速くなります。押し続けると連続して変えられます。

- ∨∧を一緒に押すと、そのときに選ばれているソングやリズムの初期値に戻ります。
- ⓮を押すと画面のテンポ数表示が点滅をはじめます。
- 点滅中は⓲（数字、－＋ボタン）でもテンポ数を変えることができます。
  例：テンポ89を入力するときは“0”→“8”→“9”と最初に0を入力します。
- しばらく何も操作しないと、テンポ数の点滅が終了して点灯に戻ります。

メトロノームの音量を変える

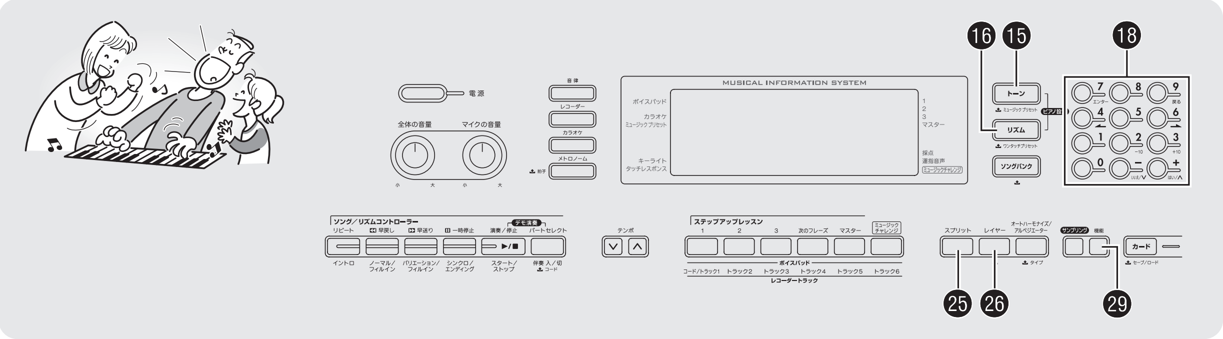
メトロノームの音量を変更するには、自動伴奏の音量やソング（内蔵曲）の音量の設定を変えます。

- 自動伴奏の音量変更は、42ページをご参照ください。
- ソングの音量変更は、29ページをご参照ください。

メモ

- 自動伴奏や自動演奏曲と、メトロノームとの音量バランスは変更できません。

音を変えて弾いてみよう

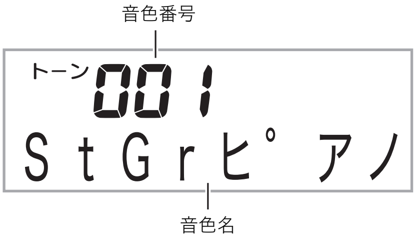


いろいろな楽器の音色で弾いてみよう

この楽器はバイオリン、フルート、オーケストラの楽器など、さまざまな楽器の音色で演奏ができます。同じ曲でも楽器の種類を替えて弾けば、さらに多彩な演奏が楽しめます。

演奏する楽器を決める

1. ⑮(トーン)を押します。



2. ⑱(数字、－＋ボタン)を押して、音色番号を入力します。

液晶画面に番号と楽器の名前が表示されますので、好きな楽器を選びます。

• 数字ボタンで入力するときは、3桁で入力してください。

例：001なら、"0"→"0"→"1"と入力します。

メモ

- 音色の一覧は別紙「Appendix」をご覧ください。
- ドラムセットの音色が選ばれていると、鍵盤ごとにさまざまな打楽器が鳴ります。
- ⑮(トーン)は、押しても光らないボタンです。

3. 鍵盤を弾いてみましょう。

選んだ楽器の音色が出ます。

ピアノの音色で弾く(ピアノセッティング)

1. ⑮(トーン)と⑯(リズム)を同時に押します。

グランドピアノの音色(001番"ステレオグランドピアノ")になります。

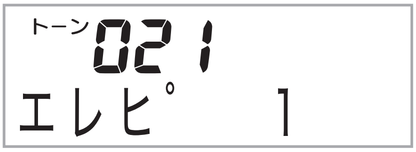
設定される内容

音色番号	:"001"
リバーブ	:"06"
トランスポーズ	:"00"
タッチレスポンス	:オフのとき：初期値(タイプ1) オンのとき：変更なし
ペダルの効果	:サスティン
リズム番号	:"161"
自動伴奏	:リズムパートのみ
ローカルコントロール	:オン
ドラムアサイン	:オフ
スプリット	:オフ
レイヤー	:オフ
コーラス	:オフ
オクターブシフト(アッパー)	:"0"
オートハーモナイズ	:オフ
アルペジエーター	:オフ
スケール	:平均律

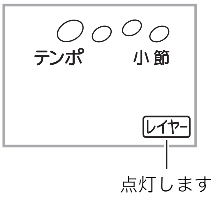
2つの音色を重ねてみよう（レイヤー）

2つの音色を重ねて音を出すことができます。2種類のピアノの音を重ねて新しいピアノの音をつくったり、ピアノとストリングスの音をミックスするなど、多彩な音で演奏ができます。

1. 2つの音色うち一方の音色を選びます。
⓯（トーン）を押してから、⓲（数字、－＋ボタン）で音色番号を入力します。
例：音色021 “エレクトリックピアノ 1”を選ぶ。



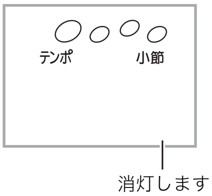
2. ㉖を押します。



3. ⓲（数字、－＋ボタン）を押して、もう一方の音色番号を入力します。
例：音色175 “ストリングス”を選ぶ。

4. 鍵盤を弾いてみましょう。
選んだ2つの音色が重なって音が出ます。

5. もう一度㉖を押すと、1音色だけが出る設定に戻ります。
- ㉖を押すたびに、1音色が出る設定と2音色が出る設定が切り替わります。

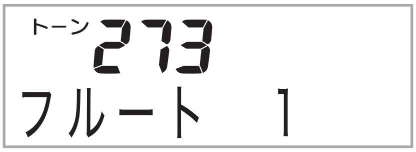


鍵盤の高音域と低音域で音色を変えてみよう（スプリット）

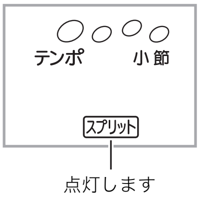
鍵盤を右手側と左手側に分けて、それぞれを違う音色で鳴らすことができます。左手をハープシコード、右手をフルートにして1人でアンサンブル演奏をするなど、さまざまな演奏ができます。

2つの音色を決める

1. 右側の鍵盤の音色を選びます（15ページ）。
⓯（トーン）を押してから、⓲（数字、－＋ボタン）で音色番号を入力します。
例：音色273 “フルート 1”を選ぶ。

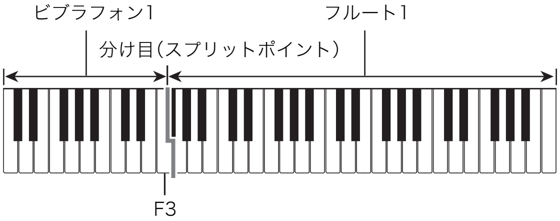


2. ㉕を押します。



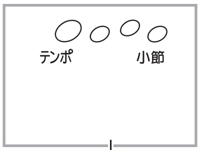
3. ⓲（数字、－＋ボタン）を押して、左側の鍵盤の音色番号を入力します。
例：音色046 “ビブラフォン 1”を選ぶ。

4. 鍵盤を弾いてみましょう。
左右の鍵盤で選んだそれぞれの音が出ます。



5. もう一度㉕を押すと、1音色だけ出る設定に戻ります。

- ㉕を押すごとに、1音色が出る設定と2音色が出る設定が切り替わります。



消灯します

メモ

- レイヤーをオンにしているときにスプリットをオンに設定すると、右側の鍵盤だけがレイヤーの状態で演奏できるようになります。

音色の分け目を変える（スプリットポイント）

1. ㉕を押しながら、音色の分け目の鍵盤を押します。
押した鍵盤が右側鍵盤の一番低い音の出る鍵盤になります。
例：中央のド（C4鍵）を指定した場合

鍵盤名が表示されます

響くような音で弾いてみよう（リバーブ）

リバーブを使うと音に残響音を加えることができます。この楽器では残響音の長さを変えることができますので、一味違った演奏をしてみましょう。

1. ㉙を押して、⑱（数字、−＋ボタン）の[4]（◀）または[6]（▶）を使って液晶画面に“リバーブ”と表示させます（6ページ）。

2. ⑱（数字、−＋ボタン）の[−]または[＋]を押して、残響音の長さを調整します。リバーブのタイプは下記の表のとおりです。

オフ（oFF）	リバーブ効果がかかりません。
1〜10	数値が大きくなるほど残響が長くなります。

オフのときは消灯します

音に厚みをつけてみよう(コーラス)

コーラスとは音に厚みや広がりを加える機能のことです。1人で弾いても複数の楽器が鳴っているような効果が出せます。

1. ㉙を押して、⑱(数字、－＋ボタン)の[4](◄)または[6](►)を使って液晶画面に“コーラス”と表示させます(6ページ)。

2. ⑱(数字、－＋ボタン)の[－]または[＋]を押して、コーラスのタイプを選びます。

コーラスのタイプは1～5、またはオフを選びます。

- コーラス効果は音色によって差があります。

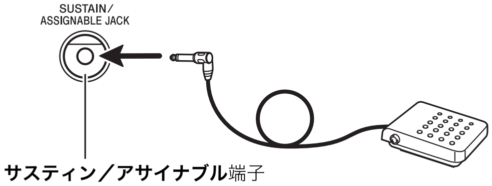
ペダルを使ってみよう

ペダルで演奏にさまざまな変化がつけられます。

- ペダルは本製品に付属されておりません。お買い求めの販売店で別途ご購入ください。

ペダルの接続

ペダル(別売品)を接続してください。



ペダルの効果を選ぶ

1. ㉙を押して、⑱(数字、－＋ボタン)の[4](◄)または[6](►)を使って液晶画面に“ソノタセッテイ”と表示させます(6ページ)。

2. ⑱(数字、－＋ボタン)の[7](エンター)を押します。

3. ⑱(数字、－＋ボタン)の[4](◄)または[6](►)を使って液晶画面に“ジャック”と表示させます。

4. ⑱(数字、－＋ボタン)の[－]または[＋]を押して、ペダル効果の種類を選びます。

- ペダル効果の種類は下記の表のとおりです。

サスティン(SUS)	ペダルを踏んでいる間は弾いた音の余韻が長くなります。オルガンのような音色にすると、ペダルを踏んでいる間ずっと音が鳴り続けます。
ソステヌート(SoS)	鍵盤を押してからその鍵盤を離す前にペダルを踏むと、その音にだけサスティンと同じ効果がかかります。
ソフト(SFt)	ペダルを踏んでいる間に弾いた音を若干小さくします。
リズム(rHy)	自動伴奏やソングの開始・停止を行います。

音の高さを変えて弾いてみよう（トランスポーズ、チューニング、オクターブシフト）

半音単位で変える（トランスポーズ）

トランスポーズ機能とは、音の高さを半音単位で全体的に上げたり下げたりする機能です。同じ鍵盤を弾いても、実際に出る音の調（キー）を歌う人の声の高さに合わせて移調して演奏することができます。

- トランスポーズの設定範囲は上下1オクターブ（－12から＋12半音まで）です。

1. ㉙を押します。

2. ⑱（数字、－＋ボタン）の［－］または［＋］を押して、移調するキーを決めます。

音の高さを微調整する（チューニング）

チューニング機能とは、音の高さを全体的に少しだけずらす機能です。他の楽器やCDの演奏と本機の音程が合わないときに微調整できます。

- チューニングの設定範囲は－99から＋99セントです。
- CDの演奏によっては、楽器のチューニングを微妙に変えて演奏されている場合もあります。

1. ㉙を押して、⑱（数字、－＋ボタン）の［4］（◀）または［6］（▶）を使って液晶画面に“チューニング”と表示させます（6ページ）。

2. ⑱（数字、－＋ボタン）の［－］または［＋］を押して、チューニングを微調整します。

オクターブ単位で変える（オクターブシフト）

オクターブシフトとは鍵盤の音の高さを、オクターブ単位で上げたり下げたりできる機能です。設定範囲は上下2オクターブです。

- スプリット機能（16ページ）を使って演奏するときに、左右の鍵盤の音を適切な高さに調整できます。

1. 下記の液晶画面になるまで、㉖を押し続けます。

スプリット機能を使うときは、㉖を押す前にスプリットをオンにしておきます。

- しばらく何も操作をしないと、㉖を押す前の画面に戻ります。

2. ⑱（数字、－＋ボタン）の［－］または［＋］を押して、オクターブ単位で高さを調整します。

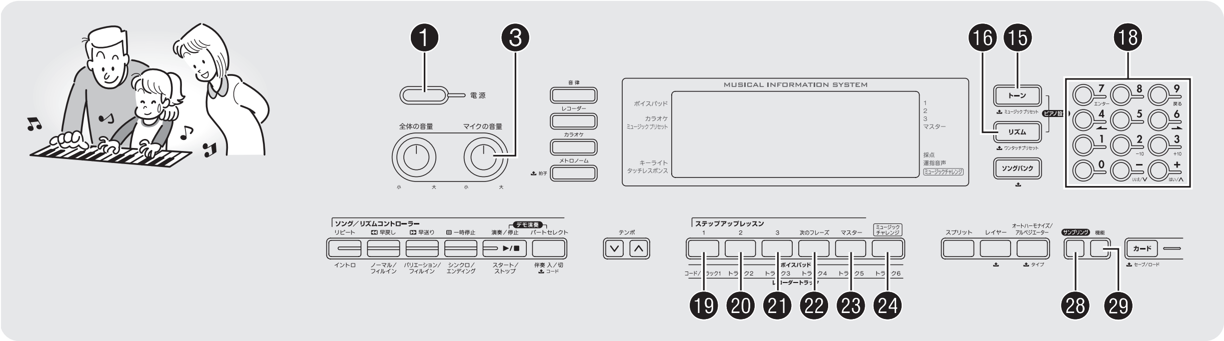
- **スプリットオンのとき：** 右側の鍵盤が変わります。
- **スプリットオフのとき：** 全部の鍵盤が変わります。

3. ㉖を押します。

- **スプリットオンのとき：**
  以下の画面になりますので右側の鍵盤と同様に⑱（数字、－＋ボタン）を押して、左側の鍵盤のオクターブを調整します。
- **スプリットオフのとき：**
  以下の画面になりますので、次の手順に進みます。

4. もう一度㉖を押します。

好きな音を記録して弾いてみよう(サンプリング)



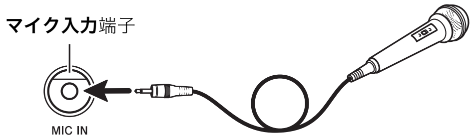
この楽器はマイクや携帯オーディオプレーヤーなどから好きな音を記録して、鍵盤やパッドで演奏することができます。たとえば、犬の鳴き声を記録して演奏すれば、犬の鳴き声でメロディーを奏でることもできます。また、音楽CDから音を記録して効果音として使うこともできます。サンプリング機能を使ってオリジナリティあふれたサウンドを作りましょう。

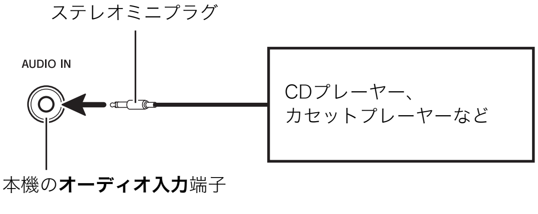
接続と準備

重 要

- **接続する前に、本機と外部機器またはマイクの電源を切ってください。**

1. マイク、または外部機器を接続してください。





メモ

- 別売または市販のダイナミックマイクがご使用になれます。
- 外部機器の接続には市販の接続コードがご使用できます。片側がステレオミニプラグ、もう一方は外部機器の入力端子に接続できるものをご用意ください。

2. 外部機器と本機の音量を小さくしておきます。

3. マイク、または外部機器の電源を入れてから、本機の電源を入れます。

- マイクを使うときは、❸でマイクからの音声レベルを調整しておきます。

重 要

- **キーンという音(ハウリング)が出るときは、マイクの先端を手でおおわないようにして、本機のスピーカーから離してください。マイクホルダーにマイクを固定している場合には、マイクの音量(❸)を下げるか、またはマイクの電源をお切りください。**
- **ノイズ(雑音)が出るときは、蛍光灯などからマイクを離すようにしてください。**

メモ

- マイクは電源を入れて数秒後から使用してください。
- サンプリング音はモノラルで記録されます。

音を記録してメロディーを弾いてみよう（メロディーサンプリング）

記録した音を、鍵盤で鳴らしてメロディー演奏したり、パッドで鳴らすことができます。

- 音色番号571〜575の各番号に1種類ずつ音を保存して、全部で5種類まで記録することができます。また、記録した後からでも音色番号を選ぶとその番号に記録されている音を呼び出すことができます。

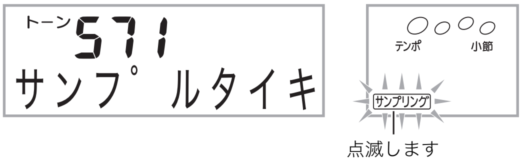
音を記録する

1. ⑮（トーン）を押して、⑱（数字、−＋ボタン）で音色番号571〜575のなかで音を記録したい番号を選びます。

- 上の操作の替わりに、㉘と⑮を同時に押して音色番号を選ぶこともできます。

2. ㉘を押します。

記録待機の状態になります。
液晶画面にサンプリング可能な時間（秒）が表示されてから、下記の表示に変わります。



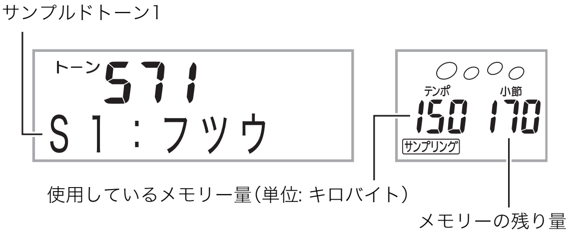
3. 外部機器から音を出します。マイクを使うときは、マイクに向けて音を出します。

自動的に記録がはじまります。

4. 記録したい音が鳴り終わったら、㉘を押します。

㉘を離した時点で記録を終了します。

- ㉘を押さなくても、外部機器やマイクから本機に入力される音がなくなると自動的に記録を終了します。また、記録開始から10秒経過すると自動的に記録を終了します。



5. 鍵盤を弾いてみましょう。

- ボイスパッド１ 〜 ５（⑳〜㉔）でも記録した音を鳴らすことができます。音色番号とパッドの対応については13ページをご参照ください。

メモ

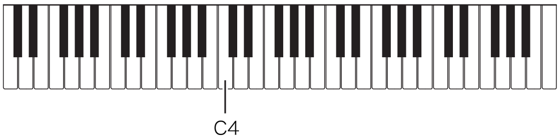
- 本機のメモリーの残り量が少なくなると、記録可能な時間が10秒よりも短くなったり、記録できなくなる場合があります。その場合には、すでに記録しているデータをいくつか消去してメモリーの残り量を増やすと、10秒間の記録ができるようになります（「記録した音を消去する」26ページ）。

重 要

- **音を記録すると、その音色番号に以前記録されていたデータは消去されます。間違ってデータを消去しないようにするには、「記録した音を誤って消さないように保護する」（26ページ）をご参照ください。**

■記録した音と同じ高さ（ピッチ）の音について

中央のド（C4）鍵盤で出る音が記録したままの音声です。C4を中心に上下の鍵盤を押すと記録したデータの音の高さを変えて音を出します。

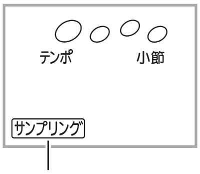


記録した音を自動で繰り返し鳴らす

メロディーサンプリングで記録した音を繰り返し再生させて、それに合わせて演奏することができます。

1. ⑯（リズム）を押します。

2. ㉘を押しながら、⑲を押します。
繰り返し再生の待機状態になります。



点灯します

3. ⑳～㉔のなかで、再生したいメロディーサンプリング音色の番号に対応したボタンを押します。
繰り返し再生がはじまります。

再生したいサンプリング音色の番号	押すボタン
571	⑳
572	㉑
573	㉒
574	㉓
575	㉔

4. 同じボタンをもう一度押すと、再生を停止します。

5. ⑲を押すと手順2の前の状態に戻ります。

繰り返し再生の音量を変える

サンプリング音を繰り返し再生させるときの音量を調整することができます。

1. 音量を変えたいサンプリング音色の番号に対応したボタン（⑳～㉔）を押します。
- 繰り返し再生がはじまります。

2. 同じボタンを押し続けながら、いずれかの鍵盤を押します。
- 鍵盤を素早く押すほど音量が大きくなり、ゆっくり押すほど小さくなります。

3. 適度な音量になったら、ボタンを離します。

記録した音にさまざまな効果をつける

サンプリングした音にさまざまな効果をつけて音を出します。

1. ⑮（トーン）を押して、⑱（数字、－＋ボタン）でメロディーサンプリング音色の番号（571～575）のなかから、効果をつけたい音色の番号を選びます。

2. ⑮（トーン）を押して下記の表から効果のタイプを選びます。
⑮を押すごとに、以下のようにタイプが変わります。

タイプ名（表示名）	効果の内容
フツウ	効果はかかりません。
ループ1	サンプリングした音が繰り返し鳴ります。
ループ2	鍵盤を離した後に、音の余韻のピッチが上がります。
ループ3	鍵盤を離した後に、音の余韻のピッチが下がります。
ピッチ1	だんだんピッチが高くなっていきます。
ピッチ2	だんだんピッチが低くなっていきます。
ピッチ3	だんだんピッチが低くなっていきます。鍵盤を離すと音の余韻のピッチが上がります。
トレモロ	音量が大きくなったり小さくなったりを繰り返します。
ファニー1	ビブラートがかかり、ゆれ幅がだんだん大きくなります。
ファニー2	ピッチが上がったり下がったりを繰り返します。
ファニー3	ビブラートがかかり、だんだんピッチが高くなっていきます。

- “フツウ”以外の10種類の効果を選んだときは、鍵盤を押している間、サンプリングした音が繰り返し鳴り続けます。
- 手順1では、繰り返し再生しているサンプリング音色（22ページ）と同じ音色番号は選ばないようにしてください。同じ番号を選んだ場合には、“ループ1”の効果がかかります。

音を記録してドラムセットに組み込んでみよう(ドラムサンプリング)

ドラムセット音色の各鍵盤の音をサンプリングで記録した音に変えることができます。

- 音色番号の576〜578の各番号に、変更したドラムセット音色(サンプリングドラムセット音色)を1種類ずつ保存して、全部で3種類まで記録することができます。また、記録した後からでも音色番号を選ぶとその番号に記録されている音を呼び出すことができます。

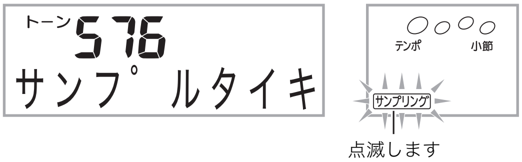
1. ⓰(リズム)を押します。
⓰が点灯します。

2. ⓯(トーン)を押して、⓲(数字、−＋ボタン)で音色の番号576〜578のなかから音を記録したい番号を選びます。

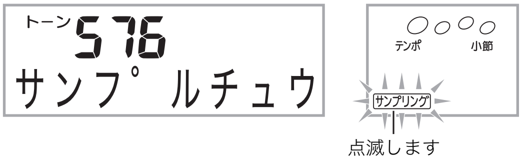
- 上の操作の代わりに、㉘と⓰を同時に押して音色番号を選ぶこともできます。

3. ㉘を押します。

4. 音を記録したい鍵盤を押します。
記録待機の状態になります。
液晶画面にサンプリング可能な時間(秒)が表示されてから、下記の表示に変わります。



5. 外部機器から音を出します。マイクを使うときは、マイクに向けて音を出します。
自動的に記録をはじめます。



6. 記録したい音が鳴り終わったら、㉘を押します。

㉘を離した時点で記録を終了します。

- ㉘を押さなくても、外部機器やマイクから本機に入力される音がなくなると自動的に記録を終了します。また、記録開始から10秒経過した場合にも自動的に記録を終了します。

7. 鍵盤を弾いてみましょう。

メモ

- 手順3〜6を繰り返すと、1つのサンプリングドラムセット音色で鍵盤ごとに違う音を記録することができます(8種類まで)。
- メモリーの残り量が少なくなると、記録可能な時間が10秒よりも短くなったり、記録できなくなる場合があります。その場合には、すでに記録しているデータをいくつか消去してメモリーの残り量を増やすと、10秒間の記録ができるようになります(「記録した音を消去する」26ページ)。

重要

- **音を記録すると、その鍵盤に以前記録されていたデータは消去されます。間違ってデータを消去しないようにするには、「記録した音を誤って消さないように保護する」(26ページ)をご参照ください。**

サンプリングドラムセット音色の音を編集する

サンプリングドラムセット音色の鍵盤に記録された音を、そのドラムセットの他の鍵盤にコピーしたり、音の高さ(ピッチ)を変更したりすることができます。

1. ⑮(トーン)を押して、⑱(数字、－＋ボタン)でサンプリングドラムセット音色番号(576～578)のなかから編集したい音色の番号を選びます。

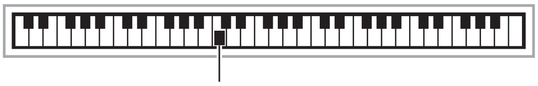
2. ㉘を押します。

3. ㉙を押します。

すばやく点滅します

編集ができる状態になります。

- この状態では以下の3種類の編集ができます。もう一度㉙を押すと編集の状態を終了して手順2の状態に戻ります。

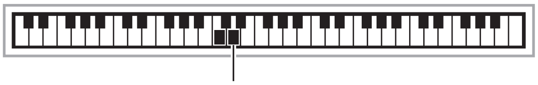


音がすでに記録されている鍵盤が点灯します

■記録した音を他の鍵盤にコピーするには

サンプリング音が記録されている鍵盤を押しながら、その音をコピーしたい鍵盤を押します。

例: C4鍵に記録した音をD4鍵にコピーした場合



音をコピーされた鍵盤が点灯します

- すでにサンプリング音が記録されている鍵盤は、コピー先に指定できません。

■記録した音の高さを鍵盤ごとに変えるは

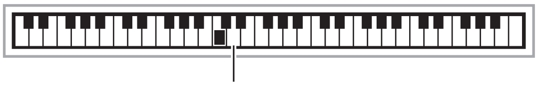
サンプリング音の高さを変えたい鍵盤を押しながら、⑱(数字、－＋ボタン)の[－]または[＋]を押します。

- －64から＋63半音の範囲で、半音単位で音の高さを変更できます。

■記録した音を鍵盤ごとに消去する

サンプリング音を消去したい鍵盤を押しながら、⑯(リズム)を押すと画面に"ワリアテ　クリア"と表示されますので、消去してよければ⑱(数字、－＋ボタン)の[＋]を押します。キャンセルするには[－]を押します。

- 消去された鍵盤の音色は、その鍵盤のオリジナル音色に戻ります。
  例: D4鍵の音を消去した場合



消灯します

サンプリングドラムセット音色で自動伴奏を鳴らす(ドラムアサイン)

自動伴奏のリズムパートの音色を、記録したサンプリングドラムセット音色に変えて鳴らすことができます。

1. ⑯(リズム)を押して、⑱(数字、－＋ボタン)で自動伴奏のリズム番号を選びます。

2. ⑮(トーン)を押して、⑱(数字、－＋ボタン)で鳴らしたいサンプリングドラムセット音色の番号を選びます。

3. ⑮(トーン)を押します。

手順1で選んだ自動伴奏のリズムパートが、手順2で選んだ音色で鳴るようになります。

- もう一度⑮を押すと、その自動伴奏の本来の音色に戻ります。

メモ

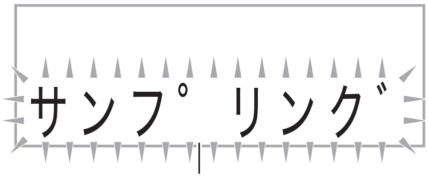
- リズムパートのドラム音のうちいくつかは、サンプリングした音に変えることができない場合があります。

サンプリング機能を使いこなそう

記録を手動で開始する設定に変える

本機では音が入力されると自動的に記録が開始されますが、ボタンや鍵盤操作で記録を開始する設定に変更できます。鍵盤を弾いてからしばらくして音が出るようなデータを記録したいときなどは、この設定にします。

1. ㉙を押して、⑱（数字、－＋ボタン）の[4]（◀）または[6]（▶）を使って液晶画面に“サンプリング”と表示させます（6ページ）。



点滅します

2. ⑱（数字、－＋ボタン）の[7]（エンター）を押します。

3. ⑱（数字、－＋ボタン）の[－]を押して、オフに設定します。

手動で記録をはじめられるようになります。

- メロディーサンプリング（21ページ）では、手順2で㉘を押してから離すと同時に記録を開始します。
- ドラムサンプリング（23ページ）では、手順4で鍵盤を押してから離すと同時に記録を開始します。

重 要

- **上記の設定にするとボタンや鍵盤を押したときに記録が開始されず、離したときに記録を開始します（ボタンや鍵盤を押し続けていると開始しません）。**

入力音が消えても記録を続ける設定に変える

本機では入力音がなくなると自動的に記録が終わりますが、ボタンや鍵盤操作で記録を停止する設定に変更できます。記録する音の後に音のない部分を入れたい場合などは、この設定にします。

1. ㉙を押して、⑱（数字、－＋ボタン）の[4]（◀）または[6]（▶）を使って液晶画面に“サンプリング”と表示させます（6ページ）。

2. ⑱（数字、－＋ボタン）の[7]（エンター）を押します。

3. ⑱（数字、－＋ボタン）の[6]（▶）を押します。

4. ⑱（数字、－＋ボタン）の[－]を押して、オフに設定します。

外部機器やマイクからの入力音がなくなっても、㉘や鍵盤を押して離すまでは記録を停止しないようになります。

重 要

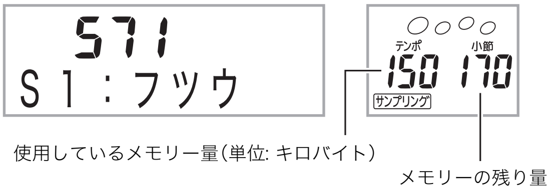
- **上記の設定にするとボタンや鍵盤を押したときに記録が停止されず、離したときに記録を停止します（ボタンや鍵盤を押し続けていると停止しません）。**

記録した音を消去する

記録したサンプリング音色の番号を指定して、その番号に記録されたデータをまとめて消去することができます。

1. ㉙を押して、⑱(数字、－＋ボタン)の[4](◀)または[6](▶)を使って液晶画面に"ショウキョ"と表示させます(6ページ)。

2. ⑱(数字、－＋ボタン)の[7](エンター)を押します。



3. ⑱(数字、－＋ボタン)の[－]または[＋]を押して、消去したい音色の番号を選びます。

4. ⑱(数字、－＋ボタン)の[7](エンター)を押します。
消去を確認する画面が表示されます。

5. ⑱(数字、－＋ボタン)の[＋](はい)を押してください。
データが消去されます。消去をキャンセルする場合は[－](いいえ)または[9](戻る)を押してください。
- 消去が終了すると画面に"シュウリョウ"が表示され、手順2の画面に戻ります。

重 要

- **サンプリングドラムセット音色の各鍵盤ごとのデータ消去の方法は、「サンプリングドラムセット音色の音を編集する」(24ページ)をご参照ください。**

記録した音を誤って消さないように保護する

大切なデータを誤って消去しないように、音色番号ごとにデータを保護することができます。

1. ⑮(トーン)を押して、⑱(数字、－＋ボタン)で保護したいサンプリング音色の番号を選びます。

2. ㉙を押して、⑱(数字、－＋ボタン)の[4](◀)または[6](▶)を使って液晶画面に"サンプリング"と表示させます(6ページ)。

3. ⑱(数字、－＋ボタン)の[7](エンター)を押します。

4. ⑱(数字、－＋ボタン)の[4](◀)または[6](▶)を使って液晶画面に"プロテクト"と表示させます。

5. ⑱(数字、－＋ボタン)の[＋]を押して、オンに設定します。
手順1で選んだ音色が保護されて消去できなくなります。
保護された音色は以下のように表示されます。

■サンプリング音のデータを外部機器に保存するには

- SDメモリーカード(54ページ)
- パソコン(60ページ)

■サンプリング音のデータの保持について

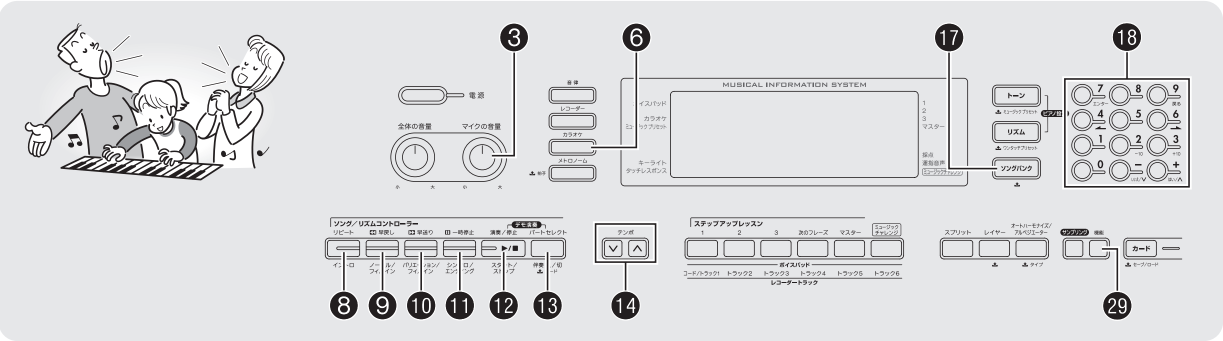
乾電池を入れずにACアダプターだけで使用している場合は、ACアダプターの接続が切れるとサンプリングで記録した内容が消去されます。

記録した内容を保つためには

- 乾電池とACアダプターの両方をご使用ください。
- ACアダプターを抜くときは、消耗していない乾電池(使用推奨期限内)を入れておいてください。
- 乾電池交換は、ACアダプターを接続した状態で行ってください。

なお、ACアダプターを差したり抜いたりするときや乾電池を交換するときは、❶でいったん電源を切ってから行ってください。

ソング(内蔵曲)を鳴らそう



ソング(SONG)とはふつう「歌」のことを意味しますが、この楽器では曲データのことを指します。ソングを鳴らして聴いてみましょう。また、曲を聴くだけでなく曲に合わせて練習することもできます。

メモ

- この楽器にはソングを自動演奏させて鑑賞する機能だけでなく、自分で弾くための練習をサポートするレッスンシステム(31ページ)もあります。またSDメモリーカード(54ページ)やパソコン(60ページ)でソングを増やすこともできます。

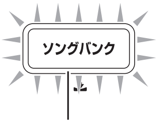
デモを聴いてみよう

ソング(内蔵曲)のなかで鑑賞用の曲を選んで再生します。

1. ⑫と⑬を同時に押します。

内蔵されているソングをデモ用の順番で再生を繰り返します。

- 曲目は67ページをご参照ください。
- デモは常に001番の曲からはじまります。



2. デモ中に曲を変えるには、⑱(数字、－＋ボタン)の[－]または[＋]を押して、曲番号を選びます(6ページ)。

選んだ曲番号のデモを開始します。

- ⑱(数字、－＋ボタン)の数字ボタンで曲番号は選べません。

3. デモを終了するには⑫を押します。

⑫を押すまでデモの全曲目を繰り返します。

ソングを1曲ずつ聴いてみよう

この楽器に内蔵されているソングの中からお好きな曲を選んで聴くことや、外部機器から自分で増やした曲も聴くことができます。また、ソングに合わせて弾くこともできます。

スタート/ストップ

1. ⑰(ソングバンク)を押します。

2. ⑱(数字、－＋ボタン)を押して、お好きなソングの番号を入力します。

- ソングの一覧は67ページをご参照ください。
- 数字ボタンで入力するときは、3桁で入力してください。

例: 036なら、“0” → “3” → “6” と入力します。

■「脳にキク」について

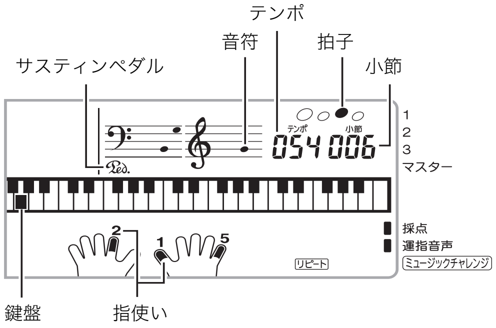
ソングの151～200番は、指のトレーニングのための曲集です。脳の活性化の効果も期待できます。

メモ

- 脳の活性化には個人差があります。
- 本機は医療機器ではありません。

3. ⓬を押します。

ソング再生がスタートします。



4. もう一度⓬を押すと、ソング再生を途中で止めることができます。

ソングは⓬を押すまでリピート再生します。リピートを解除するには❽を押します（液晶画面の“リピート”が消灯します）。

一時停止、早送り、早戻し

音楽プレーヤーのように、ソングの一時停止や早送り・早戻しができます。

■一時停止

1. ⓫を押します。

ソング再生を一時停止します。

2. もう一度⓫を押すと、停止したところからソング再生を再開します。

■早送り

1. ❿を押します。

ソングを早送りします。❿を1回押すと1小節先に進みます。押し続けると連続して小節を進めます。

- 曲の停止中に❿を押すと、レッスン機能のフレーズ送りを行います（32ページ）。

■早戻し

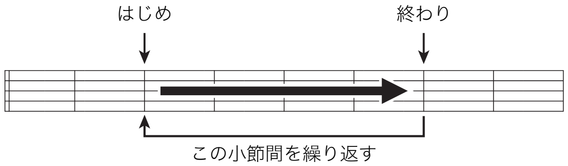
1. ❾を押します。

ソングを早戻しします。❾を1回押すと1小節戻ります。押し続けると連続して小節を戻します。

- 曲の停止中に❾を押すと、レッスン機能のフレーズ戻しを行います（32ページ）。

曲の小節間を繰り返す（リピート）

上手に演奏できないフレーズを何度も繰り返し練習してみましょう。繰り返したい箇所の、はじめの小節と終わりの小節を指定します。

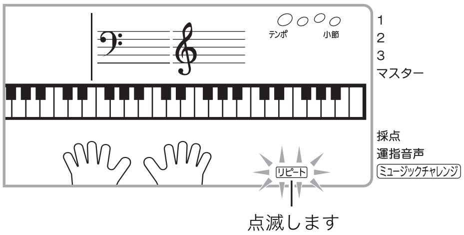


1. ❽を押して、曲のリピートを解除します。

液晶画面の“リピート”が消灯します。

2. ソングの再生中に、❽を押してリピートするはじめの小節を指定します。

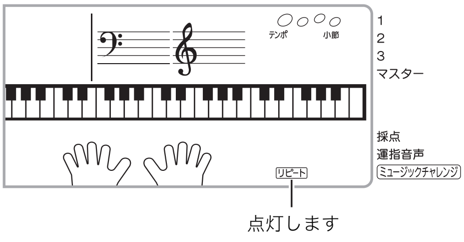
❽を押したときの小節冒頭が指定されます。



3. リピートしたいところまで曲が進んだら、もう一度❽を押して終わりの小節を指定します。

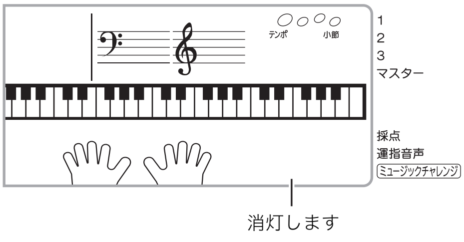
❽を押したときの小節末尾が指定され、指定した小節間をリピート再生します。

- リピート再生中に⓫、❿、❾を押すと、リピート部分の一時停止、早送り、早戻しができます。



4. もう一度❽を押すと、通常の演奏に戻ります。

ソング番号を変えるとリピート内容は消去されます。



速さ(テンポ)を変える

難しいフレーズはソング再生の速さ(テンポ)を変えて練習してみましょう。

1. ⓮を押します。

∨を押すとテンポが遅くなり、∧を押すとテンポが速くなります。押し続けると連続して変えられます。

- ∨∧を一緒に押すと、ソングのオリジナルテンポに戻ります。
- ⓮を押すと画面のテンポ数表示が点滅をはじめます。点滅中には⓲(数字、－＋ボタン)でもテンポ数を変えることができます。しばらく何も操作しないと、元の表示に戻ります。
- ソング番号を変えると、ソングのオリジナルテンポに戻ります。

音量(ソングボリューム)を変える

自分で弾く音量とソング再生の音量のバランスを変えてみましょう。

1. ㉙を押して、⓲(数字、－＋ボタン)の[4](◀)または[6](▶)を使って液晶画面に“キョクVol.”と表示させます(6ページ)。

2. ⓲(数字、－＋ボタン)の[－]または[＋]を押して、ソングの音量を変えます。

ソングの音と同じ音色で弾いてみる

鍵盤の音色をソングと同じ音色にして、一緒に弾いてみましょう。

1. 液晶画面の音色名がそのソングの音色名に変わるまで、⓱(ソングバンク)を押し続けます。

ソングの音色と同じ音色が選ばれているときは、液晶画面の音色名は変わりません。

2. ソング再生に合わせて弾いてみましょう。

メモ

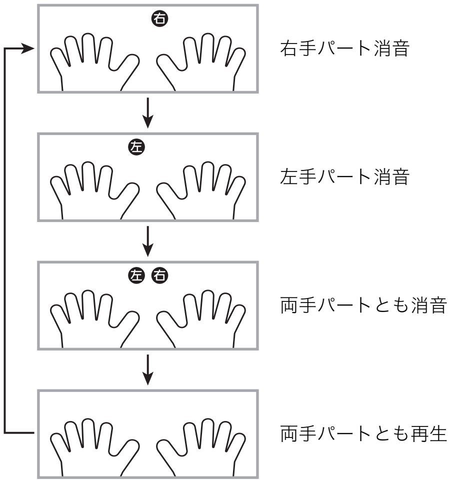
- 右手と左手で違う音色を使っているソングは、右手パートと同じ音色で弾けるようになります。

片手パートの音を消して練習する(パートセレクト)

ソングの右手パートと左手パートのうち、どちらか一方の音を消して、もう一方の音だけを再生することができます。最初から両手で弾くのは難しいと思ったら、一方のパートの音を消してもう一方のパート再生とあわせて練習してみましょう。

1. ⓭を押して、ソングの音を消したいパートを選びます。

⓭を押すたびに、下記のようにパート選択が切り替わります。



2. ⓬を押します。

選んだパートの音を消して、ソングを再生します。

メモ

- どちらか一方のパートの音を消して再生しているときは、消したパートの音だけが液晶画面に表示されます。

ソングに合わせてマイクで歌おう(カラオケ機能)

ソングバンクの001～085番の曲のメロディパートをカラオケのように小さな音量で鳴らして、マイクで歌ってみましょう。

- マイクの接続は、20ページをご参照ください。
- 本機にマイクを固定する方法は、7ページをご参照ください。
- 歌う前にマイクの音量を❸で調整しておいてください。

1. ソングの001～085番の中から歌いたい曲を選んで(27ページ)、❻を押します。

カラオケ機能がオンになります。

- もう一度❻を押すと、カラオケ機能がオフに戻ります。

2. ⓬を押して、ソングを再生します。

3. マイクを使って歌ってみましょう。

- メロディーラインは歌いやすい音量や音質で再生されています。
- ソング再生の音を歌いやすい高さ(キー)に変えたいときは、トランスポーズ機能(19ページ)で変更してください。

ソングを増やす(ユーザーソング)

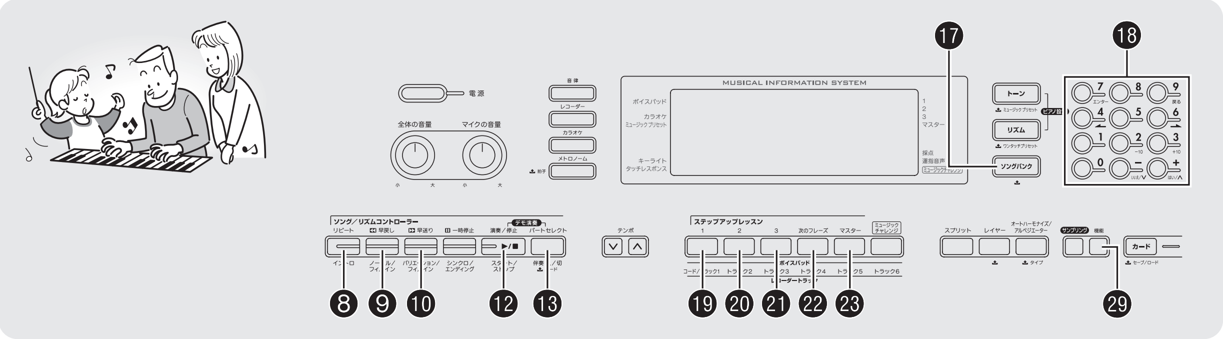
お好きな曲をSDメモリーカードやパソコンから本機のソング番号201 ～ 210(ユーザーソング)に読み込んで、再生やレッスン(31ページ)をすることができます。

●SDメモリーカード(54ページ)
●パソコン(60ページ)

メモ

- 読み込んだソングデータを消去する方法は50ページをご参照ください。

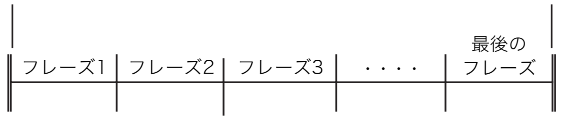
ソング（内蔵曲）で曲をマスターしよう



1曲を弾けるようになるまで、曲全体をいくつもの短い楽節（フレーズ）に分けてそれぞれのフレーズごとに練習した後、最後に全曲を練習する方法がより効果的です。このような練習を強力にサポートしてくれるシステム、それがステップアップレッスンです。

フレーズについて

この楽器に内蔵されている曲は、あらかじめ練習用のフレーズ（区間）に分けられています。



メモ

- 外部機器から読み込んで増やしたソング（30ページ）は、練習用のフレーズに分けられていない場合があります。これらのソングをフレーズに分けて練習したい場合は、35ページの「フレーズの長さを変える」をご参照ください。

ステップアップレッスンの流れ

曲のフレーズごとに右手、左手、両手の順にレッスンを進めます。すべてのフレーズを通して弾けるようになると1曲完成です。

フレーズ1
- 右手のレッスン1、2、3
- 左手のレッスン1、2、3
- 両手同時のレッスン1、2、3

↓

フレーズ2、3、4・・・
最後のフレーズまで同じく練習。

↓

全部のフレーズを覚えたら全曲を練習。

↓

1曲完成！

レッスン中のメッセージ表示について

ステップアップレッスンでは、レッスンの進行をサポートするために、下記の5種類のメッセージが液晶画面に表示されます。

メッセージ	内容
<フレーズ>	フレーズを選んだときや、レッスンを開始したときなどに表示されます。 • ただし一部のフレーズでは<フレーズ>の代わりに下記の<マチマス>が表示される場合があります。
<マチマス>	ソングの前奏や間奏などの、練習する音符が含まれていないフレーズのレッスンを開始したときに表示されます。このフレーズでは再生が終わると自動的に次のフレーズに進みますので、鍵盤を弾かずに待ってください。
ツギニススム	次のフレーズへ自動的に進むときに表示されます。上記の<マチマス>が表示されたフレーズの再生が終わったとき、あるいは自動ステップアップレッスン(36ページ)でこのメッセージが出てきます。
サイショカラ	自動ステップアップレッスン(36ページ)のなかで、フレーズ1から今練習しているフレーズまでを通して練習する直前に表示されます。
ヨクデキマシタ	自動ステップアップレッスン(36ページ)を終了したときに表示されます。

練習するソング、フレーズ、パートを選ぶ

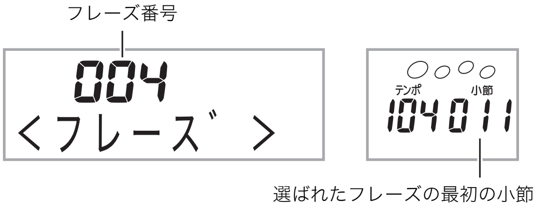
最初に、練習するソング、フレーズ、パートを決めましょう。

1. 練習するソングを選びます(27ページ)。

ソングを選んだときは、最初のフレーズが選ばれます。

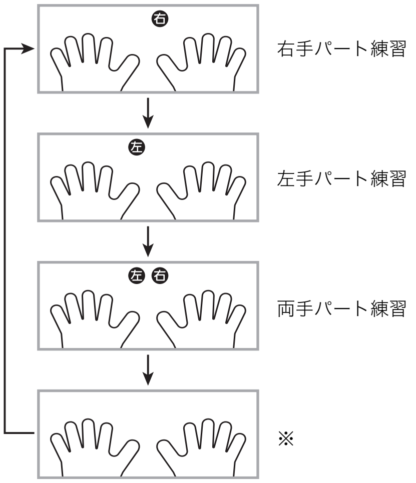
2. ㉒(または❿)を押すと、次のフレーズへ進み、❾を押すと1つ前のフレーズに戻ります。

- ❿または❾を押し続けると、フレーズを連続して切り替えられます。
- 本機では練習したソングの最後に練習したフレーズを20まで記憶します。そのフレーズを呼び出すには、そのソングを選んでから㉒を押し続けます。



3. ⓭を押して、練習するパートを選びます。

⓭を押すたびに、下記のようにパート選択が切り替わります。



※ステップアップレッスン中に⓭を押した場合は、この画面を表示しないで右手パート練習に戻ります。

4. 液晶画面の音色名がそのソングの音色名に変わるまで、⓱(ソングバンク)を押し続けます。

鍵盤の音がソングと同じ音色になります(29ページ)。

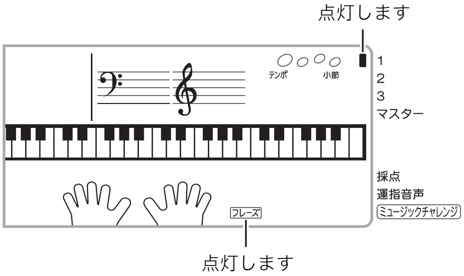
レッスン1～3をはじめよう

それではレッスンをはじめましょう。最初に練習するソング、フレーズ、パートを選んでおきます。

レッスン1、お手本の演奏を聴く

まずは、お手本の演奏を何度も聴いて曲を覚えましょう。

1. ⑲を押します。
お手本の演奏がはじまります。

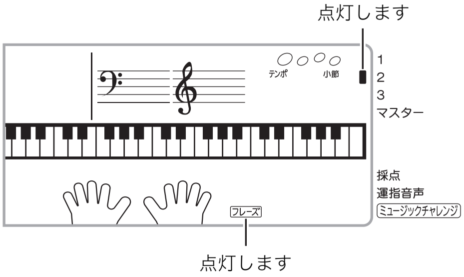


2. お手本の演奏を止めたい場合は⑲(または⑫)を押します。

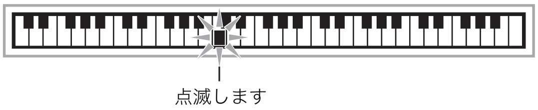
レッスン2、表示のガイドを見ながら弾く

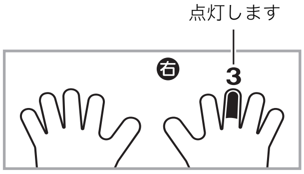
ソングを弾いてみましょう。液晶画面にこれから弾く鍵盤が表示されます。また、音声で指使いの番号をガイドします。ガイドに合わせて鍵盤を弾く練習をしましょう。間違えて押しても大丈夫です。正しい鍵盤を弾くまで曲の再生が一時停止してくれます。あせらずゆっくり弾いてみましょう。

1. ⑳を押します。
レッスン2がはじまります。



2. 液晶画面表示と音声でガイドがはじまりますので、ガイドに合わせて鍵盤を弾く練習をしましょう。
液晶画面表示にはこれから弾く鍵盤がガイドされます。また、音声で指使いの番号をガイドします。





<レッスン2のガイドについて>

ガイドを参考にどの鍵盤をどの指で弾くのかを覚えて、タイミングを合わせて弾きます。

↓

弾くタイミングがすぎても正しい鍵盤を弾かないと、曲が一時停止します。
- 鍵盤表示が点滅から点灯に変わります。
- 正しい鍵盤を音でガイドします。
- 音声で指使いの番号をガイドします。

↓

正しい鍵盤を弾くと、曲演奏が再開され、次の鍵盤が点滅ガイドされます。

3. レッスン2を止めたい場合は⑳(または⑫)を押します。

● 最後まで弾くとレッスン2の採点結果が表示されます。

スバラシイ！	合格です。次のレッスンへ進みましょう。
モウイチド！	もう一度トライしましょう。

メモ

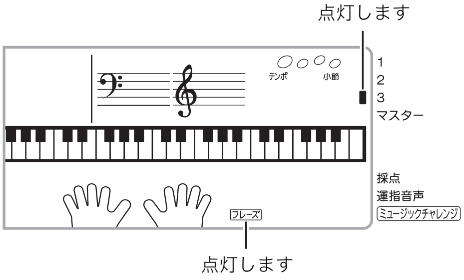
- 外部機器から読み込んで増やしたソング(30ページ)では、指使いの番号はガイドされない場合があります。

レッスン3、これまでの練習を思い出して弾く

正しい鍵盤を弾くまで曲が停止したままになる点はレッスン2と同じですが、次に弾く鍵盤の事前のガイドがありません。レッスン2までの練習を思い出しながら弾いてみましょう。

1. ㉑を押します。

レッスン3がはじまります。



2. 曲に合わせて弾きます。

<レッスン3のガイドについて>

レッスン2で覚えた鍵盤を弾きます。

↓

弾くタイミングがすぎても正しい鍵盤を弾かないと、曲が一時停止します。
- 正しい鍵盤を音でガイドします。

↓

それでも正しい鍵盤を弾かないと、レッスン2と同様の液晶画面と音声によるガイドが出ます。

↓

正しい鍵盤を弾くと、曲演奏が再開されます。

3. レッスン3を止めたい場合は㉑(または⑫)を押します。
- 最後まで弾くとレッスン2と同様に、レッスン3の採点結果が表示されます。

1曲を通して弾いてみる

レッスン1、2、3ですべてのフレーズが弾けるようになったら、最後に自動演奏に合わせて1曲弾いてみましょう。

1. ⑬を押してパートを両手オフにして、⑫を押します。

両手で弾いてみましょう。練習の成果はいかがですか?

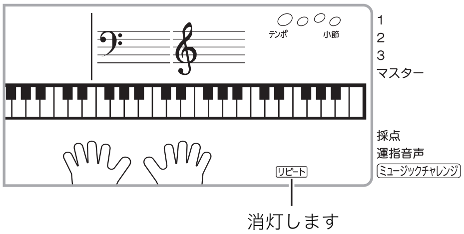
レッスン中のさまざまな設定

フレーズを繰り返さないようにする

レッスン1からレッスン3で、練習しているフレーズを繰り返さないようにできます。

1. ⑧を押します。

フレーズをリピートしなくなります。



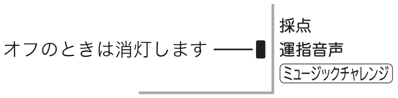
指番号の音声ガイドを消す

レッスン2、レッスン3での音声による指使い番号ガイドをオフにできます。

1. ㉙を押して、⑱(数字、－＋ボタン)の[4](←)または[6](→)を使って液晶画面に“レッスンセッテイ”と表示させます(6ページ)。

2. ⑱(数字、－＋ボタン)の[7](エンター)を押します。

3. ⑱(数字、－＋ボタン)の[－]を押して、オフに設定します。



弾くべき音のガイドを消す

レッスン2、レッスン3での弾くべき音が鳴るガイドをオフにできます。

1. ㉙を押して、⑱(数字、－＋ボタン)の[4](◀)または[6](▶)を使って液晶画面に“レッスンセッテイ”と表示させます(6ページ)。
2. ⑱(数字、－＋ボタン)の[7](エンター)を押します。
3. ⑱(数字、－＋ボタン)の[4](◀)または[6](▶)を使って液晶画面に“サウンドナビ”と表示させます。

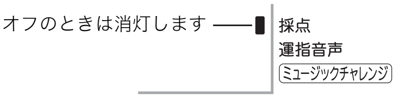
4. ⑱(数字、－＋ボタン)の[－]を押して、オフに設定します。

採点結果の表示を出さないようにする

レッスン2、レッスン3で表示される採点結果の表示機能をオフにできます。

1. ㉙を押して、⑱(数字、－＋ボタン)の[4](◀)または[6](▶)を使って液晶画面に“レッスンセッテイ”と表示させます(6ページ)。
2. ⑱(数字、－＋ボタン)の[7](エンター)を押します。
3. ⑱(数字、－＋ボタン)の[4](◀)または[6](▶)を使って液晶画面に“サイテン”と表示させます。

4. ⑱(数字、－＋ボタン)の[－]を押して、オフに設定します。



フレーズの長さを変える

フレーズの長さを変えてレッスンしたり、フレーズに分けずにソング全体をはじめから終わりまで通してレッスンすることができます。

1. ㉙を押して、⑱(数字、－＋ボタン)の[4](◀)または[6](▶)を使って液晶画面に“レッスンセッテイ”と表示させます(6ページ)。
2. ⑱(数字、－＋ボタン)の[7](エンター)を押します。
3. ⑱(数字、－＋ボタン)の[4](◀)または[6](▶)を使って液晶画面に“フレーズチョウ”と表示させます。

4. ⑱(数字、－＋ボタン)の[－]または[＋]を押して、フレーズの長さを選びます。

オフ(oFF)	フレーズに分けずに、ソングのはじめから終わりまで通して練習できます。
プリセット(PrE)	ソングで指定されている長さ。

以下は外部から読み込んで増やしたソング(30ページ)にのみ有効です。

1(Ln1)	1小節で1フレーズ
2(Ln2)	2小節で1フレーズ
3(Ln3)	4小節で1フレーズ

自動的にレッスンを進めてみよう ー自動ステップアップレッスンー

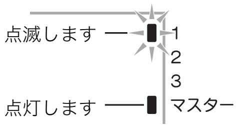
自動ステップアップレッスン機能を使えば、すべてのレッスンを本機にお任せで進められます。

1. 練習するソングとパートを選びます（27ページ）。

2. ㉓を押します。

フレーズ1のお手本を聴くレッスンから開始します。

- レッスン1では、1回のみお手本を自動演奏した後、レッスン2へ進みます。



3. レッスンを最後まで合格すると、自動ステップアップレッスンを終了します。

- レッスン2、レッスン3では、「スバラシイ！」の採点結果が出たら次のレッスンへ進みます。
- レッスンを中止する場合は、㉓（または⑫）を押します。

メモ

- 自動ステップアップレッスン中でも、⑨、⑩、または⑲〜㉒を使ってレッスンやフレーズを変更できます。
- 自動ステップアップレッスンを開始すると、フレーズリピート設定（34ページ）、弾くべき音のガイド（35ページ）と採点結果表示（35ページ）は自動的にオンになります（レッスン中はオフにできません）。

■自動ステップアップレッスンの順序

フレーズ1
レッスン1
↓
レッスン2
↓
レッスン3

↓

フレーズ2
レッスン1
↓
レッスン2
↓
レッスン3
↓
フレーズ1からフレーズ2まで
- レッスン3※

↓

フレーズ3
レッスン1
↓
レッスン2
↓
レッスン3
↓
フレーズ1からフレーズ3まで
- レッスン3※

↓

続きのフレーズも同様に練習

↓

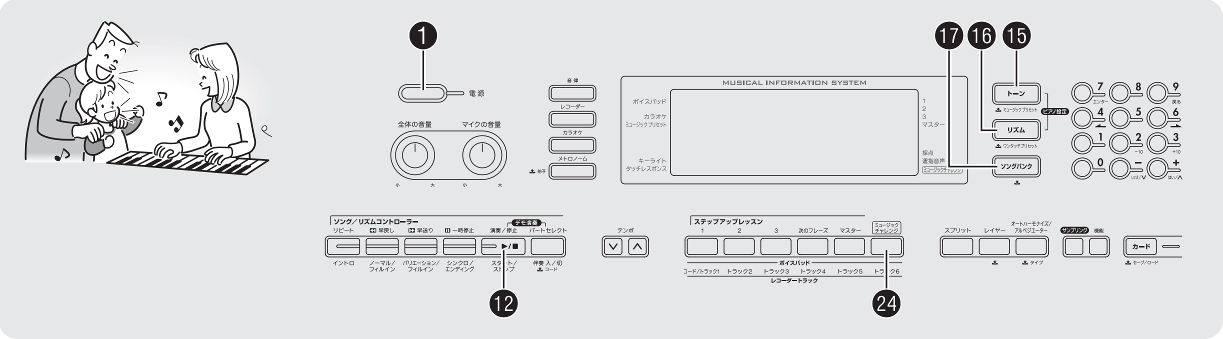
最後のフレーズ
レッスン1
↓
レッスン2
↓
レッスン3
↓
フレーズ1から最後のフレーズまで
- レッスン3※

↓

レッスン終了

※曲のはじめから練習したフレーズまでを通して弾くレッスン3です。このレッスン3は採点結果にかかわらず1回のみで終了して、次のフレーズのレッスンに進みます。

鍵盤ゲーム（ミュージックチャレンジ）

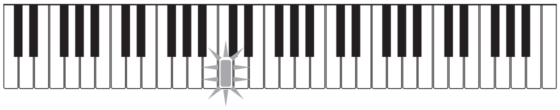


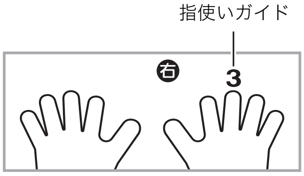
鍵盤の光ガイドと、液晶画面の指使いガイドに合わせて、どれだけ速く反応して押せるかを競うゲームです。ゲームの結果から年齢も算出しますので、若返りを目指してチャレンジしてみましょう。

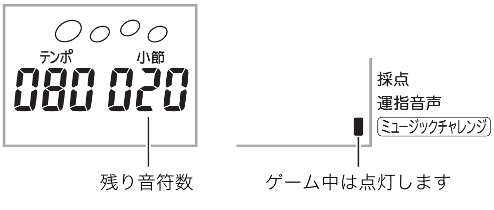
1. ⑰を押します。

2. ㉔を押します。

鍵盤が点滅しはじめます。鍵盤ゲーム曲のスタートです。



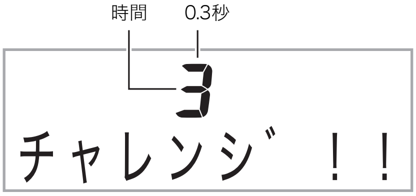




3. 鍵盤ガイドが点滅から点灯に変わった後に、液晶画面でガイドされている指でできるだけ早くその鍵盤を押します。

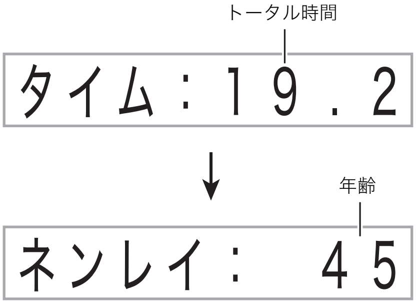
弾いた鍵盤ガイドが消えたら、1回クリアです。すぐに次の鍵盤ガイドが点滅しますので、続けて鍵盤を押してください。

- 鍵盤ガイドが点灯に変わってからその鍵盤を弾くまでの時間が表示されます（0.1秒単位）。表示される時間が短いほど判定結果の年齢が若くなります。
- 鍵盤ガイドが点滅から点灯に変わる前に弾いてしまった場合はクリアになりません。



4. 20回クリアするとゲームが終了します。

- 液晶画面表示にトータル時間が表示されます。少したってから時間が年齢表示に変わります。液晶画面の年齢表示を消すには⑮、⑯、⑰のいずれかを押します。
- ゲームを中断したいときは㉔または⑫を押します。



■判定結果の年齢について

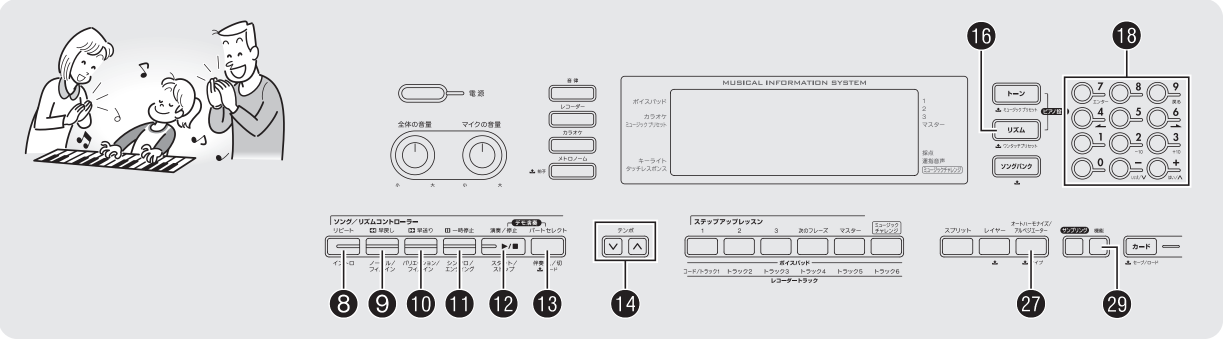
様々な年齢の方が鍵盤ガイドと指使いガイドに従って演奏した時間を測定して、カシオ独自の方法で算出した年齢（目安）です。

- 19歳以下と、70歳以上の年齢は表示されません。
- 結果には個人差があります。

メモ

- 音と指使いはゲームごとにランダムに選ばれます。
- ゲーム曲のテンポは変更できません。
- ゲーム中は❶、⑫、㉔以外のボタンは使えません。

自動伴奏をバックに演奏しよう



自動伴奏機能とは、お好みの伴奏リズムを選び、左手でコード（和音）を押すだけで、選んだリズムにぴったりの伴奏が自動に鳴る機能です。1人でもアンサンブル演奏をお楽しみいただけます。

メモ

- 自動伴奏で鳴るパート（楽器）には、下記の3種類があります。
  (1) リズム（打楽器）
  (2) ベース（低音楽器）
  (3) ハーモニー（さまざまな楽器）

(1)だけを鳴らしたり、(1)～(3)の全楽器を同時に鳴らすこともできます。

リズムパートだけを鳴らそう

リズム（打楽器）は自動伴奏の土台となる重要なパートです。本機には8ビートやワルツなどさまざまな種類のリズムが内蔵されていますので、まずは基本となるリズムパートだけを聴いて、それに合わせて弾いてみましょう。

リズムパターンの選択とスタート／ストップ

1. ⑯（リズム）を押します。

2. ⑱（数字、－＋ボタン）でリズム番号を入力します。
- リズムの種類は別紙「Appendix」をご覧ください。
- 数字ボタンで入力するときは、3桁で入力してください。

例：001なら、“0” → “0” → “1” と入力します。

3. ⑫（または⑨）を押します。

リズムがスタートします。

4. リズムに合わせて弾きましょう。

5. もう一度⑫を押すとリズムがストップします。

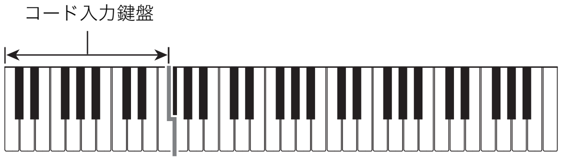
すべてのパートを鳴らしてみよう

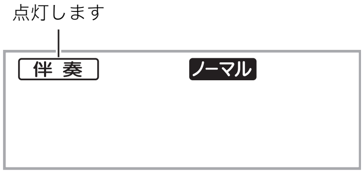
コードを付けて伴奏する

左手でコードを押さえると、選んだリズムにベースやハーモニーを加えた伴奏が自動的に演奏されます。1人で演奏してもバンド演奏のように楽しく演奏できます。

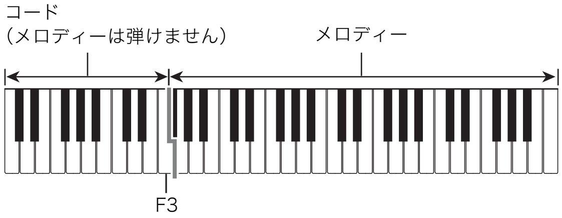
1. リズムパートの自動伴奏をスタートさせます。

2. ⑬を押します。
左側の鍵盤でコードを入力できる状態になります。





3. コード入力鍵盤でコードを押さえます。
ベースやハーモニーなど、リズムパート以外の楽器も鳴りはじめます。



例) コード入力鍵盤の「レ・ファ#・ラ・ド」を押さえる。
↓
「レ・ファ#・ラ・ド」の和音(コード:D7)で伴奏が鳴ります。

4. 左手でいろいろなコードを押さえて、右手でメロディーを弾きましょう。

5. もう一度⑬を押すと、リズムだけの伴奏に戻ります。

メモ

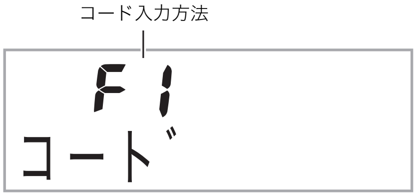
- コードを押さえると同時に伴奏をスタートさせるには、「シンクロスタート」(42ページ)をご参照ください。
- スプリットポイントを変更して、コード入力鍵盤の範囲を変えることができます(17ページ)。

コードの入力方法の選択

コードの入力方法は、以下の5種類から選べます。

- フィンガード1
- フィンガード2
- フィンガード3
- カシオコード
- フルレンジコード

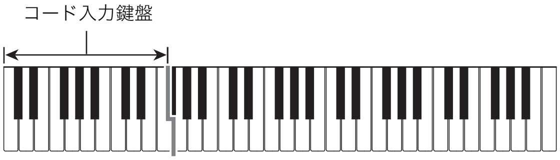
1. 液晶画面にコードの入力方法の画面が表示されるまで、⑬を押し続けます。



2. ⑱(数字、−+ボタン)の[−]または[+]を押して、コード入力方法を選びます。
- 入力方法の画面は、しばらく何も操作をしないと元の画面に戻ります。

■フィンガード1、2、3について

これらは、コード構成音のままに鍵盤を押さえて入力する方法です（一部のコードでは構成音を省略して、1 ～ 2鍵でも入力できます）。
入力できるコードの種類と鍵盤の押さえかたについては、別紙「Appendix」をご覧ください。



● フィンガード1

コードの構成音の鍵盤を押さえます。

● フィンガード2

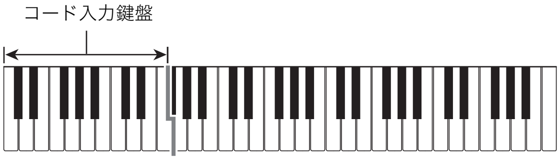
フィンガード1とは違い、6thの入力はできません。

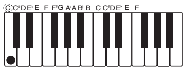
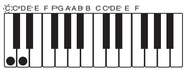
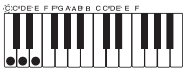
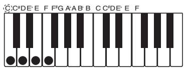
● フィンガード3

フィンガード1とは違い、一番低い鍵盤の音をベース音として分数コードが入力できます。

■カシオコードについて

簡単な指使いで次の4種類のコードを演奏できます。



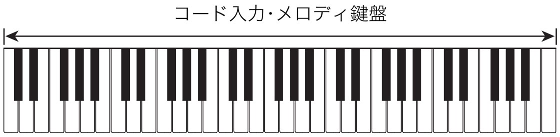
コードの種類	例
メジャーコード コード入力鍵盤の上側にアルファベットで音名が書いてあります。コード名と同じ音名の鍵盤を1つ押します（コード入力鍵盤の範囲内であれば、1オクターブ違う同音でもかまいません）。	C（Cメジャー） 
マイナーコード メジャーコードの押さえ方に加えて、コード入力鍵盤内の、それより右の鍵盤を1つ押します。	Cm（Cマイナー） 
セブンスコード メジャーコードの押さえ方に加えて、コード入力鍵盤内の、それより右の鍵盤を2つ押します。	C7（Cセブンス） 
マイナーセブンスコード メジャーコードの押さえ方に加えて、コード入力鍵盤内の、それより右の鍵盤を3つ押します。	Cm7 （Cマイナーセブンス） 

メモ

- 2つ目以降の鍵盤は、1つめより右側なら白鍵・黒鍵を問わずどれでも使用できます。

■フルレンジコードについて

すべての鍵盤でコードの入力とメロディ演奏ができます。
入力できるコードの種類については、別紙「Appendix」をご覧ください。



自動伴奏を使いこなそう

自動伴奏に変化をつけて演奏する

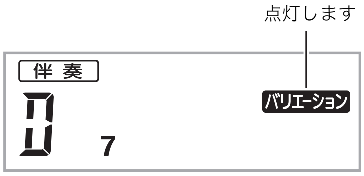
自動伴奏にメリハリをつけて演奏できます。気の利いたイントロから入る、サビ前をぐっと盛り上げる、おしゃれなエンディングをつけるなど、自動伴奏をさまざまに彩る演出機能を使いこなしましょう。

■バリエーション(伴奏パターンの変化形)

ノーマルパターン(基本)の演奏を変化させたバリエーションパターンです。基本パターンとは一味違った演出ができます。

1. ❿を押します。

バリエーションパターンがスタートします。



2. ❾を押すと、ノーマルパターンの演奏に戻ります。

■イントロ(前奏)

数小節のイントロを入れます。

1. ❽を押します。

イントロがスタートします。イントロ演奏の後、通常のパターン演奏になります。

- イントロ演奏中に❿を押した場合は、イントロ終了後にバリエーションパターン演奏になります。

■変化フレーズ(フィルイン)

曲の途中にフィルインを入れます。

- フィルインとは、曲調の切れ目に入れる短いフレーズのことです。メロディーとメロディーのつなぎ目やアクセントとして使ったとき、とても華やかな演奏になります。
- ノーマル、バリエーションのそれぞれに違ったフィルインパターンがあります。

● ノーマルパターン・フィルイン

1. ノーマルパターン演奏中に、❾を押します。

ノーマルパターンのフィルインが演奏されます。

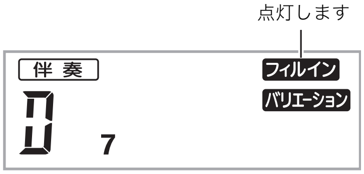
- フィルイン終了後にノーマルパターン演奏に戻ります。

● バリエーションパターン・フィルイン

1. バリエーションパターン演奏中に、❿を押します。

バリエーションパターンのフィルインが演奏されます。

- フィルイン終了後にバリエーションパターン演奏に戻ります。

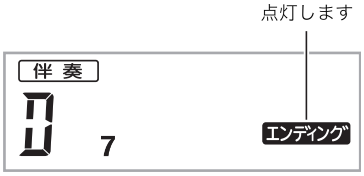


■エンディング(終わり)

数小節のエンディングパターンを入れます。

1. 自動伴奏の演奏中に、⓫を押します。

エンディングパターンが演奏され、自動的に伴奏が停止します。



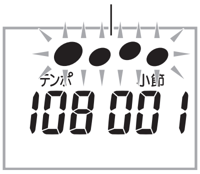
■ シンクロスタート（演奏と同時に伴奏をスタートする）

鍵盤を押すタイミングと同時に、伴奏をスタートさせることができます。

1. ⓫を押します。

伴奏スタート待機の状態になります。

点滅します



2. 鍵盤でコードを押さえます。

同時にフルパート伴奏（ノーマル）がスタートします。

シンクロ待機中に以下の操作をしておくと、ノーマル以外のパターンで開始できます。

- イントロからはじめたいとき→❽を押します。
- バリエーションからはじめたいとき→❿を押します。

テンポ（速さ）を変える

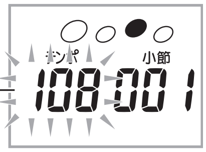
自分の弾きやすいテンポに変えてみましょう。

1. ⓮を押します。

∨を押すとテンポが遅くなり、∧を押すとテンポが速くなります。押し続けると連続して変えられます。

- ∨∧を一緒に押すと、そのとき選ばれているリズムの初期値に戻ります。
- ⓮を押すと画面のテンポ数表示が点滅をはじめます。点滅中には⓲（数字、－＋ボタン）でもテンポ数を変えられます。
- しばらく何も操作をしないと、元の表示に戻ります。

テンポ数（点滅します）



自動伴奏の音量を変える

自分で弾く音量と自動伴奏の音量のバランスを変えてみましょう。

1. ㉙を押して、⓲（数字、－＋ボタン）の[4]（◀）または[6]（▶）を使って液晶画面に“バンソウVol”と表示させます（6ページ）。

2. ⓲（数字、－＋ボタン）の[－]または[＋]を押して、伴奏の音量を変えます。

お勧めの音色やテンポにする（ワンタッチプリセット）

ワンタッチプリセットとは、リズムパターンごとにそのリズムに良く合った音色やテンポを、ワンタッチで呼び出すことができる機能です。

1. 液晶画面表示が音色の表示になるまで、⓰（リズム）を押し続けます。

鍵盤の音色やテンポなどが現在選択されているリズムに対応した設定にセットされます。

2. 鍵盤でコードを押さえて演奏します。

伴奏も同時にスタートします。

メロディーの音に和音をつけてみよう（オートハーモナイズ）

右手で弾いているメロディに適した和音を自動でつけます。メロディーに厚みをつけて演奏してみましょう。12種類のオートハーモナイズのタイプから演奏に合ったタイプを選んでみましょう。

メモ

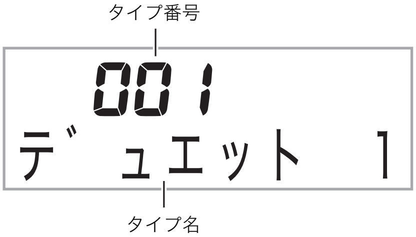
- オートハーモナイズ機能は、アルペジエーター（49ページ）と同じボタン㉗で操作します。2つの機能を同時に使うことはできません。

1. ⑬を押して、コードをつけて伴奏を鳴らせるようにします（39ページ）。

- コード入力の方法がフルレンジコードに設定されているときは、オートハーモナイズは使えません。他のコード入力方法に変更してください。

2. 画面にオートハーモナイズ、またはアルペジエーターのタイプ番号とタイプ名が表示されるまで、㉗を押し続けます。

- しばらく何も操作をしないと、元の表示に戻ります。



3. ⑱（数字、－＋ボタン）の[－]または[＋]を押して、オートハーモナイズのタイプを選びます。

- タイプ番号013～102はアルペジエーター用のタイプですので、ここでは選ばないようにしてください。

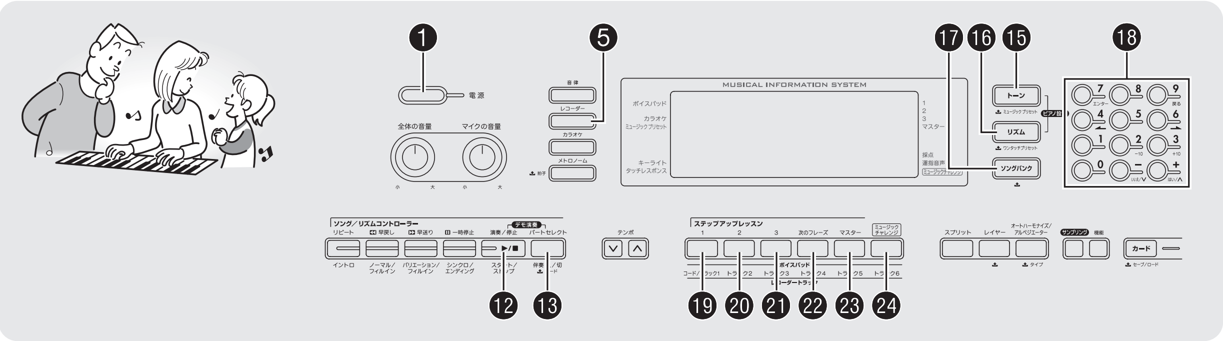
タイプ番号	タイプ名	内容
001	デュエット 1	演奏したメロディーの下に、クローズな（2～4度ほど離れた）ハーモニーを1音加えます。
002	デュエット 2	演奏したメロディ音の下に、オープンな（4～6度以上離れた）ハーモニーを1音加えます。
003	カントリー	カントリーの演奏に適したハーモニーを加えます。
004	オクターブ	1オクターブ下の音を加えます。
005	5th	5度上の音を加えます。
006	3ウェイ オープン	2声（演奏したメロディーと合わせて3声）のオープンハーモニーを加えます。
007	3ウェイ クローズ	2声（演奏したメロディーと合わせて3声）のクローズハーモニーを加えます。
008	ストリングス	ストリングス演奏に適したハーモニーを加えます。
009	4ウェイ オープン	3声（演奏したメロディーと合わせて4声）のオープンハーモニーを加えます。
010	4ウェイ クローズ	3声（演奏したメロディーと合わせて4声）のクローズハーモニーを加えます。
011	ブロック	ブロックコード音を加えます。
012	ビッグ バンド	ビッグバンド演奏に適したハーモニーを加えます。

4. ㉗を押してオートハーモナイズをオンにします。

左手でコードを弾きながら右手でメロディーを弾くと、メロディーの音にハーモニーが加わります。

- もう一度㉗を押すと、オートハーモナイズがオフに戻ります。

演奏を録音してみよう(レコーダー)



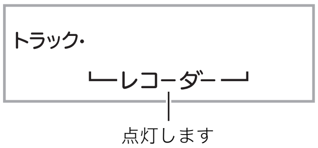
この楽器は自分の演奏した曲を録音して再生することができます。演奏をそのまま録音したり、片手ずつ録音したりできますので、練習にも役立ちます。

演奏を録音・再生する

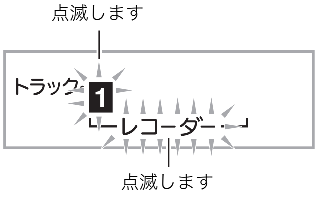
弾いたそのままに演奏を録音してみましょう。

1. ⓰(リズム)を押します。

2. ❺を押します。



3. ❺をもう1回押します。
録音の待機状態になります。



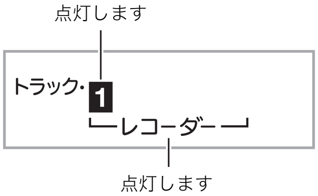
4. 音色やリズムの番号などを設定します。

5. 演奏をはじめます。
鍵盤を弾きはじめると、同時に録音がはじまります。

メモ

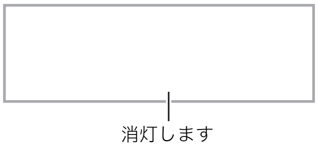
- 自動伴奏を開始すると、自分の演奏と一緒に自動伴奏も録音することができます。

6. 録音を終了するには、⓬を押します。

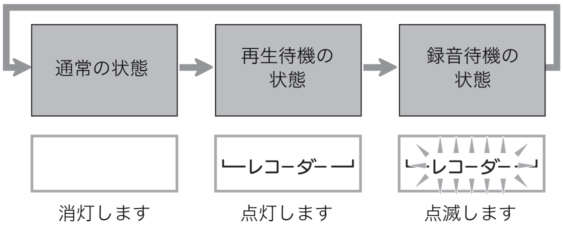


7. もう一度⓬を押すと録音した演奏の再生をします。
⓬を押すたびに再生と停止を繰り返します。

8. 通常の状態に戻すには、❺を2回押します。



- 録音できる残り音符数が100以下になると、手順3の液晶画面の点滅が速くなります。
- 録音できる音符数は、全体で約12000音符です。録音できる音符数を超えると録音が終了します。
- ❺を押すたびに下記のように状態が切り替わります。再生の待機状態にして⓬を押すと、録音したデータを何度も聴くことができます。



■録音した曲の消去

手順3の操作をした後に、❺を押し続けると液晶画面に“Trショウキョ？”と表示されますので[＋]（はい）を押します。

重 要

- **録音中に本機の電源がオフになると、録音した内容は消去されます。**
- **新しく録音すると、以前に録音した内容は消去されます。**

■録音したデータの保持について

乾電池を入れずにACアダプターだけで使用している場合は、ACアダプターの接続が切れると録音された内容が消去されます。

録音した内容を保つためには

- 乾電池とACアダプターの両方をご使用ください。
- ACアダプターを抜くときは、消耗していない乾電池（使用推奨期限内）を入れておいてください。
- 乾電池交換は、ACアダプターを接続した状態で行ってください。

なお、ACアダプターを差したり抜いたりするときや乾電池を交換するときは、❶でいったん電源を切ってから行ってください。

パートごとに重ねて録音する・選んで再生する

曲をいくつかのパート（楽器ごとや、右手と左手など）に分けて、5回まで重ねて録音できます。

■録音トラックについて

各パートを録音するための記録部分をトラックといいます。トラックには1から6があります。

- トラック番号を設定しないで録音すると、トラック1に録音されます。

鍵盤演奏の他に以下が記録できます。

- **トラック1に記録できる内容**

  番号や設定　：音色番号、リズム番号、テンポ、リバーブ設定、コーラス設定、コード、レイヤー設定、スプリット設定、オートハーモナイズ／アルペジエーター設定

  演奏中の操作：ペダル、イントロボタン、シンクロ／エンディングボタン、ノーマル／フィルインボタン、バリエーション／フィルインボタン

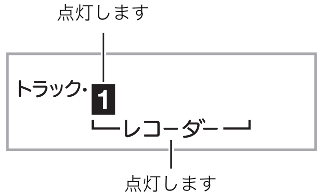
- **トラック2～6に記録できる内容**

  音色番号、ペダル操作

トラック1～6に録音する

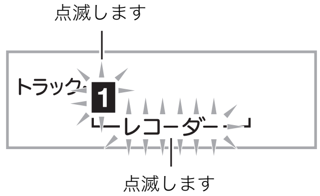
1. トラック1に最初のパートを録音します。

トラック1の録音は「演奏を録音・再生する」の手順1～6をご参照ください（44ページ）。



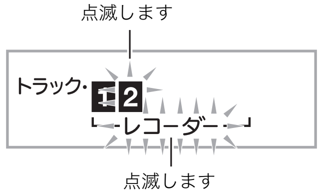
2. ❺を押します。

録音の待機状態になります。



3. ⓴～㉔のいずれかのボタンを押して、次に録音するトラック番号を選びます。

選んだトラックが録音待機状態になります。
例：トラック2を選んだ場合



- トラック1と違う音色で録音したい場合は、⓯を押してから⓲（数字、－＋ボタン）で音色番号を入力します。

4. ⓬を押します。

先に録音したトラック1の再生がはじまります。同時に録音がはじまりますので、再生に合わせて演奏をしましょう。

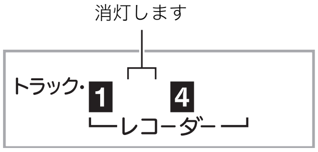
5. 演奏が終わったら⓬を押します。

- もう一度⓬を押すと録音した演奏の再生をします。⓬を押すごとびに再生と停止を繰り返します。

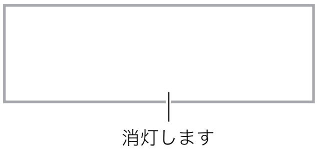
6. 手順2～5を繰り返して他のパートを録音します。

7. すべてのパートの録音が終わったら⓬を押します。

- 録音したトラックの再生がはじまります。⓬を押すごとに再生と停止を繰り返します。
- ⓳～㉔の中で再生させたくないトラック番号のボタンを押すと、トラック番号が液晶画面の表示から消えて、そのトラックが再生されなくなります。
  このとき❺を押して手順2に進むと、選んだトラックの音を鳴らさずに録音できます。
  例：トラック2と3を選んだ場合



8. 通常の状態に戻すには、❺を2回押します。



■録音したトラックの消去

手順3の操作をした後に、❺を押し続けると液晶画面に"Trショウキョ？"と表示されますので[+](はい)を押します。

2曲以上録音する・選んで再生する

すでに録音した演奏データを消去せずに、演奏を5曲(ソング1～5)まで録音できます。また、曲を選んで再生できます。

1. ⓰(リズム)を押します。

2. ❺を押します。
液晶画面の左上に曲番号がしばらく表示されますので⓲(数字、－＋ボタン)を押して録音または、再生するソング番号を入力します(しばらく何も操作をしないと、曲番号が消えます)。
例：ソング2を選んだ場合

3. 録音するときは❺、再生するときは⓬を押します。
録音または、再生を止めるには⓬を押します。

4. 通常の状態に戻すには、❺を2回押します。

■録音した曲の消去

手順2の操作をした後に、❺を押し続けると液晶画面に"ショウキョ？"と表示されますので[+](はい)を押します。

ソング(内蔵曲)と一緒に演奏して録音する

ソング(内蔵曲)に合わせて演奏して、それを録音することができます。

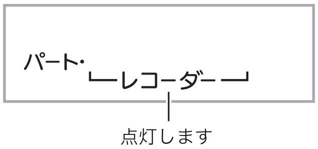
● 鍵盤演奏のほかに以下の操作や設定も記録できます。
音色番号、曲番号、ペダル操作、テンポ、リバーブ設定、コーラス設定、レイヤー設定、スプリット設定

メモ

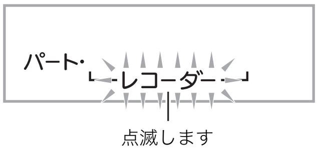
- ソングと一緒に録音できるのは1曲です。新しく録音すると、前に録音したデータは消去されます。

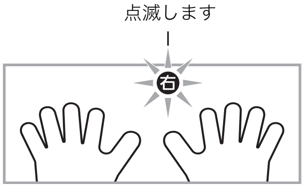
1. ⓱(ソングバンク)を押します。

2. ❺を押します。
再生の待機状態になります。



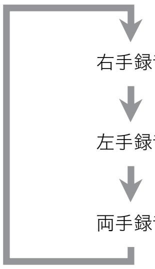
3. もう一度❺を押します。
録音の待機状態になります。



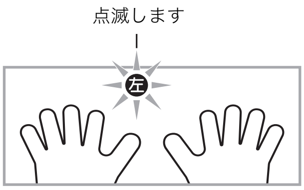


4. ⓲(数字、－＋ボタン)を押して、録音したいソングの曲番号を入力します。

5. **⓭を押して録音するパートを選びます。**



例：左手パートを選んだ場合



- 音色やテンポも設定しておきます。

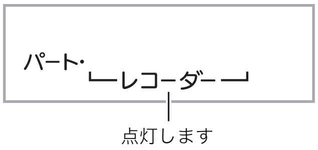
6. **⓬を押すと、ソングの再生と録音がはじまります。**

再生に合わせて演奏しましょう。

- 録音を途中で止めるには⓬を押します。

7. **ソングの再生が終了すると、録音も自動的に終了します。**

再生の待機状態になります。

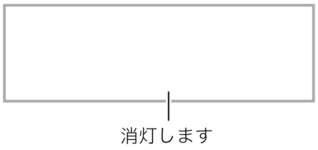


8. **⓬を押します。**

録音した演奏の再生がはじまります。

- ⓬を押すごとに再生と停止を繰り返します。

9. **通常の状態に戻すには、❺を2回押します。**



■録音した曲の消去

手順2の操作をした後に、❺を押し続けると液晶画面に“ショウキョ？”と表示されますので[＋](はい)を押します。

録音したデータを外部機器に保存する

録音したデータをSDメモリーカードやパソコンに保存できます。SDメモリーカードを使うと、一般的な形式のMIDIファイル(SMFフォーマット0)に変換することもできます。

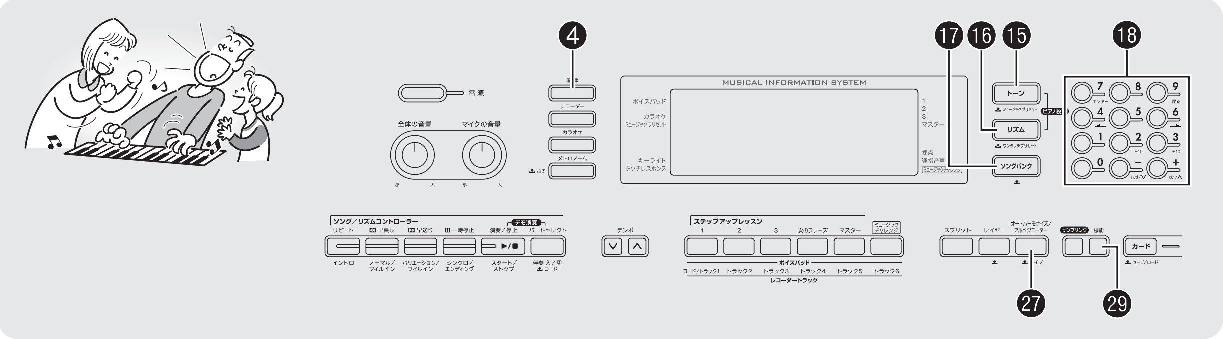
■SDメモリーカードに保存

54ページをご参照ください。

■パソコンで保存

60ページをご参照ください。

本機をさらに使いこなすには



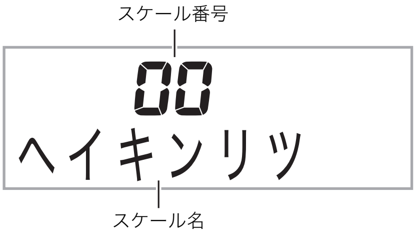
鍵盤の音律(スケール)を変えてみる

鍵盤の音律(スケール)を設定して通常の音律(平均律)以外の音律を使う音楽(インド音楽、アラビア音楽、クラシックなど)の演奏ができます。下記の17種類のプリセットスケールから、好きなスケールを選ぶことができます。

番号	スケール名	表示
00	平均律	ヘイキンリツ
01	純正律長調	ジュンセイチョ
02	純正律短調	ジュンセイタン
03	ピタゴラス音律	ピタゴラス
04	キルンベルガー第Ⅲ法	キルンベルガ
05	ヴェルクマイスター 第１技法第３法	ベルクマイス
06	ミーントーン(中全音律)	ミーントーン
07	ラスト(Rast)	ラスト
08	バヤティ(Bayati)	バヤティ
09	ヒジャーズ(Hijaz)	ヒジャーズ
10	サバ(Saba)	サバ
11	ダシュティ(Dashti)	ダシュティ
12	チャハルガー(Chahargah)	チャハルガー
13	セガー(Segah)	セガー
14	グジャリ・トーディ(Gurjari Todi)	グシャリトデ
15	チャンドラコウンス (Chandrakauns)	チャンドラコウ
16	チャルケシ(Charukeshi)	チャルケシ

1. ⑯(リズム)を押します。

2. ❹を押します。



3. ⑱(数字、−＋ボタン)の[−]または[＋]を押して、設定するスケールを選びます。

- スケールを選んだら、次にルートキー(C〜B)にしたい鍵盤を押して、ルートキーを設定します。

4. ❹を押します。

選んだスケールで演奏できるようになります。

設定したスケールで自動伴奏を鳴らしてみる

設定したスケールの音で自動伴奏を鳴らすことができます。

1. ㉙を押して、⑱(数字、−＋ボタン)の[4](◀)または[6](▶)を使って液晶画面に“ソノタセッテイ”と表示させます(6ページ)。

2. ⑱(数字、−＋ボタン)の[7](エンター)を押します。

3. ⑱(数字、−＋ボタン)の[4](◀)または[6](▶)を押して、液晶画面に“オンリツバンソ”と表示させます。

4. ⑱(数字、−＋ボタン)の[＋]を押して、オンに設定します。

ミュージック プリセット

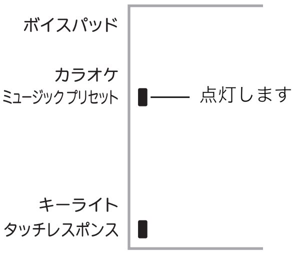
さまざまなジャンルや曲の演奏に適した音色番号やリズム番号などをワンタッチで設定します。

- プリセットのリスト(305種類)は、別紙「Appendix」をご覧ください。

1. 下記の表示になるまで⑮(トーン)を押し続けます。

プリセット番号

プリセット名



2. ⑱(数字、－＋ボタン)を押して、プリセット番号を選びます。

音色やリズムなどの適した設定が呼び出されます。

- 自動伴奏のシンクロスタート待機中になります(42ページ)。
- ⑮、⑯、または⑰を押すと、手順1で⑮を押し続ける前の状態に戻ります。

3. 自動伴奏にあわせて曲を弾いてみましょう。

アルペジオのフレーズを自動的に鳴らす(アルペジエーター)

アルペジエータを使うと鍵盤で押さえている音が、アルペジオ(分散和音)になって自動的に演奏されます。90種類のアルペジオタイプから演奏する曲に合ったアルペジオを選んでみましょう。

メモ

- アルペジエーター機能は、オートハーモナイズ(43ページ)と同じボタン㉗で操作します。2つの機能を同時に使うことはできません。

1. 画面にオートハーモナイズ、またはアルペジエーターのタイプ番号とタイプ名が表示されるまで、㉗を押し続けます。

- しばらく操作をしないと元の表示に戻ります。

タイプ番号

タイプ名

2. ⑱(数字、－＋ボタン)の[＋]または[－]を押して、タイプを選びます。

- タイプ番号001～012はオートハーモナイズ用のタイプですので、ここでは選ばないようにしてください。

速さ(一拍のなかで鳴る音数)

オクターブ
1..押さえている鍵盤の音をそのままアルペジオにします。
2..アルペジオの音域が、1オクターブ広がります。
4..アルペジオの音域が、3オクターブ広がります。

タイプ番号	タイプ名	内容
013～030	アップ	上行形
031～048	ダウン	下降形
049～066	U/D A	上行と下降を交互に繰り返すアルペジオのAタイプ
067～084	U/D B	上行と下降を交互に繰り返すアルペジオのBタイプ
085～102	ランダム	押さえている鍵盤の音をランダムな順番で鳴らす

3. ㉗を押してアルペジエーターをオンにします。
鍵盤で和音を押さえると、アルペジオが鳴りはじめます。
- もう一度㉗を押すと、アルペジエーターがオフに戻ります。

メモ
- テンポの変更はメトロノームのテンポを変える操作と同じです（14ページ）。

アルペジオを鳴らし続ける

和音を押さえている指を鍵盤から離した後も、アルペジオが鳴り続けるようにすることができます。

1. ㉙を押して、⑱（数字、－＋ボタン）の[4]（◀）または[6]（▶）を使って液晶画面に“ソノタセッテイ”と表示させます（6ページ）。

2. ⑱（数字、－＋ボタン）の[7]（エンター）を押します。

3. ⑱（数字、－＋ボタン）の[＋]を押して、オンに設定します。

ユーザーソングのデータを消去する

ソング番号201～210に保存したユーザーソングのデータを消去することができます。

1. ㉙を押して、⑱（数字、－＋ボタン）の[4]（◀）または[6]（▶）を使って液晶画面に“ショウキョ”と表示させます（6ページ）。

2. ⑱（数字、－＋ボタン）の[7]（エンター）を押します。

3. ⑱（数字、－＋ボタン）の[6]（▶）を2回押します。

4. ⑱（数字、－＋ボタン）の[－]または[＋]を押して、消去したいユーザーソングの番号を選びます。

5. ⑱（数字、－＋ボタン）の[7]（エンター）を押します。
消去を確認する画面が表示されます。

6. ⑱（数字、－＋ボタン）の[＋]（はい）を押してください。
消去が終了する画面上に“シュウリョウ”が表示され、手順2の画面に戻ります。
- キャンセルするときは[＋]（はい）を押さないで、[－]（いいえ）または[9]（戻る）を押してください。

本機に記録されているデータをまとめて消去する

サンプリングした音やユーザーソングのデータを、まとめて消去することができます。

重 要

- **この消去を実行すると、保護されているサンプリング音色のデータ（26ページ）も消去されます。大切なデータはメモリーカード（52ページ）やパソコン（58ページ）に保存しておかれることをお勧めします。**
- **録音した曲（44ページ）のデータは消去できません。**

1. ㉙を押して、⑱（数字、－＋ボタン）の[4]（◀━）または[6]（━▶）を使って液晶画面に"ショウキョ"と表示させます（6ページ）。

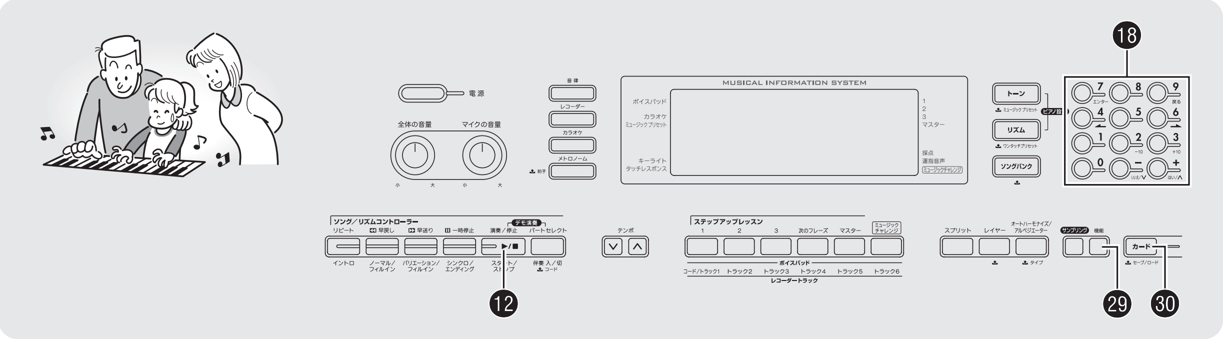
2. ⑱（数字、－＋ボタン）の[7]（エンター）を押します。

3. ⑱（数字、－＋ボタン）の[4]（◀━）または[6]（━▶）を押して、"ゼンショウキョ"と表示させます。

4. ⑱（数字、－＋ボタン）の[7]（エンター）を押します。
消去を確認する画面が表示されます。

5. ⑱（数字、－＋ボタン）の[＋]（はい）を押してください。
消去が終了する画面上に"シュウリョウ"が表示され、手順2の画面に戻ります。
- キャンセルするときは[＋]（はい）を押さないで、[－]（いいえ）または[9]（戻る）を押してください。

メモリーカードを使用する



サンプリングした音や録音した曲などの本機のデータを、市販のSDメモリーカードに保存することができます。また一般的な楽曲MIDIファイル（SMF）やカシオのホームページからダウンロードしたソングデータを、パソコンからSDメモリーカード経由で本機に読み込んで、ソングバンク曲を増やすこともできます。

● **容量2GB以下のSDメモリーカードをご使用ください。**

容量が2GBを超えるSDメモリーカードや、他の規格のメモリーカードはご使用になれません。

■保存や読み込みができるデータの種類

データの種類	内容	ファイルの拡張子
サンプリング音色（21ページ）	サンプリングした音のデータ	TW7 DW7*1
ユーザーソング（30、61ページ）	外部からのソングデータ（本機からSDメモリーカードへの保存はできません）	CM2 MID*2
録音した曲（44ページ）	演奏を記録したデータ	SP7 SL7*3
すべてのデータ	上記の全データ	AL7

*1：サンプルドドラムセット音色
*2：一般的なMIDIファイル（SMFフォーマット0、1）
*3：内蔵曲にあわせて録音したデータ

SDメモリーカードとカードスロットの取り扱い上のご注意

重 要

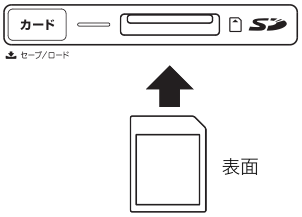
- **SDメモリーカードに付属している取扱説明書の注意事項をお守りください。**
- **SDメモリーカードには、書き込み禁止スイッチがあります。誤ってデータを消さないようにしたいときに使用してください。**
- **以下のような場所での保管、使用は避けてください。SDメモリーカード上のデータが壊れる場合があります。**
  - **高温多湿、腐食性のある場所**
  - **強い静電気、電気的ノイズの発生しやすい場所**
- **SDメモリーカードを抜き差しするときに、SDメモリーカードの接触面に直接触れないでください。**
- **データを保存したり読み込んでいるときには、本機を操作したりSDメモリーカードを取り出したりしないでください。SDメモリーカードのデータが壊れたり、カードスロットが故障したりする場合があります。**
- **カードスロットには、指定のSDメモリーカード以外は決して入れないでください。故障の原因となります。**
- **手の指やSDメモリーカードから、静電気がカードスロット部に伝わると、本機が誤動作する場合があります。このような場合は一度本機の電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。**
- **長時間使用した後、取り出したSDメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。**

SDメモリーカードを入れる／取り出す

重要

- **SDメモリーカードには、表裏と前後の方向があります。無理に入れようとすると破損する恐れがあります。**

1. SDメモリーカードの表面を上にして、カードスロット(㊴)へカチッと音がして止まるまで押し込みます。



2. 取り出すときは、SDメモリーカードをさらに押し込みます。

ロックが外れてSDメモリーカードが少し押し出されます。出てきた部分をつまんで引き抜きます。

SDメモリーカードをフォーマットする

重要

- **SDメモリーカードを使う際には、まず最初に必ず本機でフォーマットをしてください。**
- **フォーマットする前に、SDメモリーカードに大切なデータが保存されていないことをご確認ください。**
- **本機のフォーマットは、クイックフォーマットで実行します。データを完全に消去するには、パソコンなどの機器で通常のフォーマットを行ってください。**

1. フォーマットしたいSDメモリーカードを本機のカードスロットに装着します。

- SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチを解除して、書き込み可能な状態にしておいてください。

2. ㉙と㉚を同時に押します。

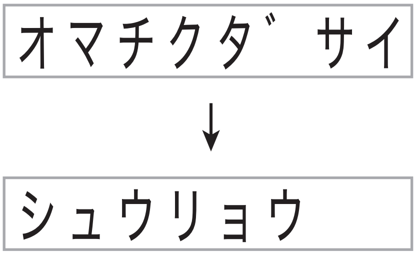
3. ⓲(数字、－＋ボタン)の[7](エンター)を押します。

フォーマットの確認画面になります。

4. ⓲(数字、－＋ボタン)の[＋](はい)を押してください。

"オマチクダサイ"(実行中)というメッセージが表示されます(この間は、一切本機の操作は行わないでください)。フォーマットが終了すると画面上に"シュウリョウ"が表示されます。

- キャンセルするときは[－](いいえ)または[9](戻る)を押してください。



本機のデータをSDメモリーカードに保存する

本機に記録したデータをSDメモリーカードに保存できます。

1. 保存するデータにより、以下の操作をします。

保存するデータ	操作
サンプリング音色	音色番号571 ～ 578のなかから、保存したいデータの番号を選びます(15ページ)。
録音した曲	保存したい曲を再生待機の状態にします(46ページ)。
すべてのデータ	本機にあらかじめ内蔵されている音色、リズムなどを選びます。

- ユーザーソング(外部機器から読み込んだソングデータ)は保存できません。
- 各データの詳細は、52ページをご参照ください。

2. SDメモリーカードを本機のカードスロットに装着します。

3. ボタンが点灯するまで㉚を押し続けます。

- 操作を中止するときはもう一度㉚を押します。

点滅します

4. 液晶画面に以下の画面が表示されるまで⑱(数字、－＋ボタン)の[4](◀)、[6](▶)を押します。

- [＋]、[－]でも操作できます。

保存するデータ	液晶画面表示
サンプリング音色	"SAv""サンプルトーン"／"サンプルドラ"
録音した曲	"SAv""ロクオンキョク"
録音した曲(SMFフォーマット0で保存する場合)	"SAv""SMF 0"
すべてのデータ	"SAv""オールデータ"

ソングバンクの曲とあわせて録音した曲をSMFフォーマット0で保存した場合は、鍵盤で弾いた演奏のデータのみ保存されます。

5. ⑱(数字、－＋ボタン)の[7](エンター)を押します。

点滅します

- 保存するデータのファイル名を入力できます。⑱(数字、－＋ボタン)の[4](◀)、[6](▶)を押してファイル名(8文字)の変更したい文字を点滅させ[＋]、[－]を押します。
- [9](戻る)を押すと、[7](エンター)を押す前の状態に戻ります。

6. ⑱(数字、－＋ボタン)の[7](エンター)を押します。

データがSDメモリーカードに保存されます。

- SDメモリーカードの中に同じファイル名がある場合は、上書きを確認する表示になります。上書きして保存するときは⑱(数字、－＋ボタン)の[＋](はい)を押してください(キャンセルするときは[－](いいえ)または[9](戻る)を押してください)。

メモ

- 手順5でのファイル名の入力では、以下の文字を入力できます。

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	$	&	_	'
(	)	-	^	{	}	@	~	`	

- "～"は本機の液晶画面では、"➔"と表示されます。

■SDメモリーカード内のデータ(ファイル)の保存場所について

以上の操作によって、本機のデータがSDメモリーカード内の“MUSICDAT”フォルダの中にファイルとして保存されます。

- “MUSICDAT”フォルダは、本機でSDメモリーカードをフォーマットしたとき(53ページ)に、自動的に作られます。
- “MUSICDAT”フォルダ以外の場所に保存されたファイルは、本機で読み込みや消去、再生ができなくなります。また“MUSICDAT”の中にさらにフォルダを作って、そこにファイルを移動した場合にも、読み込みや消去、再生ができなくなりますのでご注意ください。
- “MUSICDAT”フォルダ内に読み込み、消去や再生ができるファイルが入っていない場合には、読み込みなどの操作の途中で液晶画面に“No File”と表示されます。

SDメモリーカードのデータを本機に読み込む

SDメモリーカードに保存されているデータを本機の保存エリアに読み込みます。

重 要

- **SDメモリーカード内のデータ(ファイル)は、必ず“MUSICDAT”フォルダの中に保存してください(左記参照)。**

1. 読み込むデータにより、以下の操作をします。

読み込むデータ	操作
サンプリング音色	音色番号571 ～ 578のなかから、データの読み込み先の番号を選びます(15ページ)。
ユーザーソング	ソング番号201 ～ 210のなかから、データの読み込み先の番号を選びます(27ページ)。
録音した曲	データの読み込み先の曲を再生待機の状態にします(46ページ)。
すべてのデータ	本機にあらかじめ内蔵されている音色、リズムなどを選びます。

2. SDメモリーカードを本機のカードスロットに装着します。

3. ボタンが点灯するまで㉚を押し続けます。

- 操作を中止するときはもう一度㉚を押します。

4. 液晶画面に以下の画面が表示されるまで⑱(数字、－＋ボタン)の[4](◀)、[6](▶)を押します。

- [＋]、[－]でも操作できます。

読み込むデータ	液晶画面表示
サンプリング音色	“Lod”“サンプルトーン”／“サンプルドラ”
ユーザーソング	“Lod”“ソング”
録音した曲	“Lod”“ロクオンキョク”
すべてのデータ	“Lod”“オールデータ”

5. ⑱（数字、−＋ボタン）の[7]（エンター）を押します。

- [9]（戻る）を押すと、[7]（エンター）を押す前の状態に戻ります。

6. ⑱（数字、−＋ボタン）の[−]または、[＋]を押して、読み込むデータ（ファイル）を選びます。

7. ⑱（数字、−＋ボタン）の[7]（エンター）を押します。
SDメモリーカードのデータが本機に読み込まれます。

- 読み込み先のエリアにすでにデータがある場合は、上書きを確認する表示になります。上書きしてよいときは⑱（数字、−＋ボタン）の[＋]（はい）を押してください（キャンセルするときは[−]（いいえ）または[9]（戻る）を押してください）。

SDメモリーカードのデータを消去する

SDメモリーカードに保存されているデータを消去します。

1. 消去するデータにより、以下の操作をします。

消去するデータ	操作
サンプリング音色	音色番号571 ～ 578のいずれかを選びます（15ページ）。
ユーザーソング	ソング番号201 ～ 210のいずれかを選びます（27ページ）。
録音した曲	録音の再生待機の状態にします（44ページ）。
すべてのデータ	本機にあらかじめ内蔵されている音色、リズムなどを選びます。

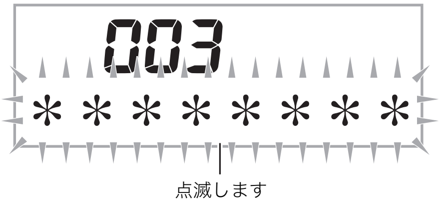
2. SDメモリーカードを本機のカードスロットに装着します。

3. ボタンが点灯するまで、㉚を押し続けます。
- 操作を中止するときはもう一度㉚を押します。

4. 液晶画面に以下の画面が表示されるまで⑱（数字、−＋ボタン）の[4]（◀）、[6]（▶）を押します。
- [＋]、[−]でも操作できます。

消去するデータ	液晶画面表示
サンプリング音色	“dEL”“サンプルトーン”／“サンプルドラ”
ユーザーソング	“dEL”“ソング”
録音した曲	“dEL”“ロクオンキョク”
すべてのデータ	“dEL”“オールデータ”

5. ⑱（数字、−＋ボタン）の[7]（エンター）を押します。



- [9]（戻る）を押すと、[7]（エンター）を押す前の状態に戻ります。

6. ⑱（数字、−＋ボタン）の[−]または、[＋]を押して、消去するデータ（ファイル）番号を選びます。

7. ⑱（数字、−＋ボタン）の[7]（エンター）を押します。
- 消去の確認画面になります。

8. ⑱（数字、−＋ボタン）の[＋]（はい）を押してください。
- キャンセルするときは[−]（いいえ）または[9]（戻る）を押してください。

SDメモリーカードのソングデータを再生する

SDメモリーカードに保存されているユーザーソングデータ（52ページ）を本機で再生したり、レッスンすることができます。

重要

- **SDメモリーカード内のデータ（ファイル）は、必ず“MUSICDAT”フォルダの中に保存してください（55ページ）。**

1. SDメモリーカードを本機のカードスロットに装着します。

2. ㉚を押します。
SDメモリーカードに入っているファイルの曲番号と曲名が液晶画面に表示されてます。

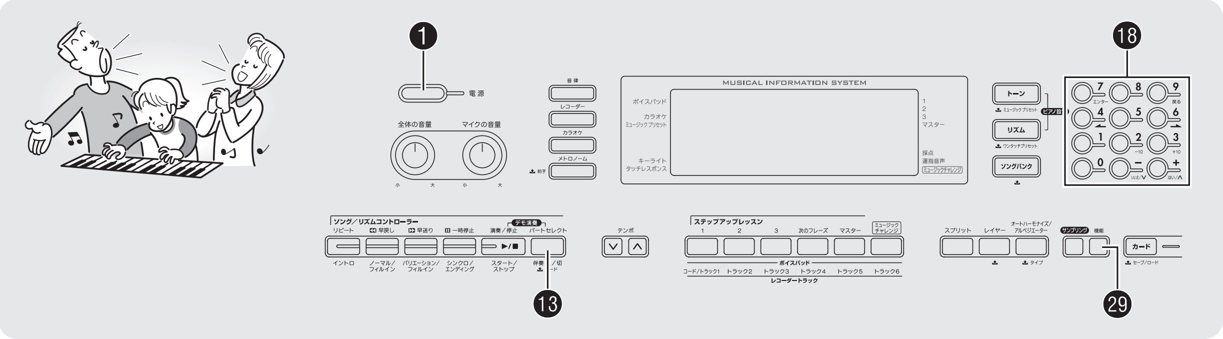
3. ⑱（数字、−＋ボタン）で再生する曲を選びます。

4. ⑫を押します。
再生がはじまります。
- ⑫を押すごとに再生と停止を繰り返します。

SDメモリーカードのエラー表示について

SDメモリーカードをご使用中に、液晶画面に“Err”と表示されたときは、66ページをご参照ください。

他の外部機器と接続する



パソコンとの接続

この楽器とパソコンを接続して演奏情報（MIDIデータ）の送受信ができます。楽器演奏をパソコンの音楽ソフトへ送って記録したり、パソコンからこの楽器へデータを送って音を鳴らすことができます。

パソコンの動作環境

MIDIデータを送受信するために必要なパソコン環境は下記のとおりです。お手持ちのパソコン環境を必ず事前にご確認ください。

- **対応OS**
  Windows® XP（SP2以降）*1
  Windows Vista® *2
  Mac OS® X（10.3.9、10.4.11以降、10.5.2以降）
  *1：Windows XP Home Edition
  Windows XP Professional（32bit版）
  *2：Windows Vista（32bit版）
- **USBポート**

重要

- **上記の対応OS以外のパソコンを接続すると、パソコンが故障する場合があります。絶対に接続しないでください。**

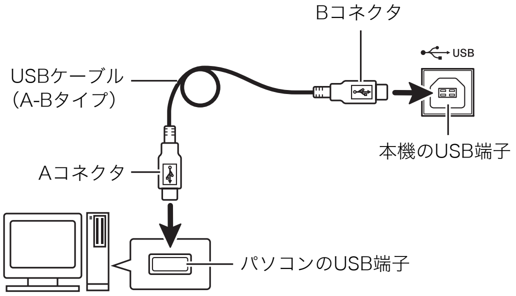
接続方法

重要

- **正しい手順で接続しないとデータの送受信ができなくなる場合があります。必ず下記の手順に従って接続してください。**

1. 本機の電源を切り、パソコンを起動させておきます。
- パソコンの音楽ソフトは起動させないでください。

2. 市販のUSBケーブルで、パソコンと本機を接続します。



3. 本機の電源を入れます。
- 初めての接続では、データを送受信するために必要なドライバが自動でパソコンにインストールされます。

4. パソコンの音楽ソフトを起動させます。

5. パソコンの音楽ソフトの設定で、MIDIデバイスとして下記のいずれかを選びます。
CASIO USB-MIDI：（Windows Vista、Mac OS Xの場合）
USB オーディオ デバイス：（Windows XPの場合）
- MIDIデバイスの選択方法については、お使いの音楽ソフトのマニュアルをご覧ください。

重要

- **パソコンの音楽ソフトを起動させる前に、必ず本機の電源を入れておいてください。**

メモ

- 1回接続に成功した後は、USBケーブルをつないだままでパソコンや本機の電源を入れなおすことができます。
- 本機はGM（General MIDI Level 1）に準拠しています。
- 本機のMIDIデータ送受信の詳しい仕様や、接続についての最新のサポート情報は、下記のホームページをご覧ください。
  http://casio.jp/support/emi/

各種MIDI設定

キーボードチャンネル

キーボードチャンネルとは、鍵盤演奏のデータをパソコンへ送信するチャンネルのことです。本機の鍵盤演奏のデータをパソコンに送信するチャンネルを選びます。

- キーボードチャンネルの設定範囲は01～16です。

1. ㉙を押して、⑱(数字、－＋ボタン)の[4](◀)または[6](▶)を使って液晶画面に“MIDIセッテイ”と表示させます(6ページ)。

2. ⑱(数字、－＋ボタン)の[7](エンター)を押します。

3. ⑱(数字、－＋ボタン)の[－]または[＋]を押して、チャンネルを変えます。

ナビゲートチャンネル

パソコンから送られてきた曲の音符情報のなかで、特定のチャンネル(パート)の音だけを画面の表示でガイドさせることができます。このチャンネルのことをナビゲートチャンネルといいます。

■ナビゲートチャンネルを設定する

この楽器では、01～16チャンネルの中から、隣りあった2つのチャンネル(例:05と06)をナビゲートチャンネルとして設定できます。番号の小さい方のチャンネルをナビゲート(左)チャンネル、番号の大きい方のチャンネルをナビゲート(右)チャンネルといいます。ナビゲート(右)チャンネルを設定すると、自動的にナビゲート(左)チャンネルも設定されます。

1. ㉙を押して、⑱(数字、－＋ボタン)の[4](◀)または[6](▶)を使って液晶画面に“MIDIセッテイ”と表示させます(6ページ)。

2. ⑱(数字、－＋ボタン)の[7](エンター)を押します。

3. ⑱(数字、－＋ボタン)の[4](◀)または[6](▶)を使って液晶画面に“ナビチャンネル”と表示させます。

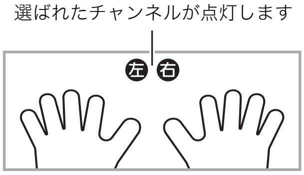
4. ⑱(数字、－＋ボタン)の[－]または[＋]を押して、ナビゲート(右)チャンネルを設定します。
ナビゲート(右)チャンネルの番号より1つ小さい番号のチャンネルが、自動でナビゲート(左)チャンネルに設定されます。

■ナビゲートチャンネルの音を消して鍵盤で演奏する

ナビゲートチャンネルとして設定した2つのチャンネルのうちどちらか片方、または両方のチャンネルの音を消して、自分で弾くことができます。

1. ⑬を押して、音を消したいチャンネルを選びます。
⑬を押すたびに、下表の(1)から(4)の状態が順に切り替わります。

- 音を消したチャンネルのパートと同じ音色で鍵盤が弾けるようになります。両方のチャンネルとも音を消した場合(下表の(3))は、ナビゲート(右)チャンネルの音色になります。



	ナビゲート(左)チャンネル		ナビゲート(右)チャンネル	
	発音	画面のガイド	発音	画面のガイド
(1) 右マークのみ点灯時	○	×	×	○
(2) 左マークのみ点灯時	×	○	○	×
(3) 左右両マーク点灯時	×	○	×	○
(4) 左右両マーク消灯時	○	○	○	○

ローカルコントロール

パソコンとデータを送受信している際に、弾いている鍵盤の音をこの楽器から出したくない場合があります。ローカルコントロールの設定をオフにすれば弾いている鍵盤の音を消すことができます。

1. ㉙を押して、⑱（数字、－＋ボタン）の[4]（◀）または[6]（▶）を使って液晶画面に“MIDIセッテイ”と表示させます（6ページ）。

2. ⑱（数字、－＋ボタン）の[7]（エンター）を押します。

3. ⑱（数字、－＋ボタン）の[4]（◀）または[6]（▶）を使って液晶画面に“ローカル”と表示させます。

4. ⑱（数字、－＋ボタン）の[－]を押して、オフに設定します。

アカンプアウト

この設定をオンにすると、自動伴奏の演奏データをパソコンに送信します。

1. ㉙を押して、⑱（数字、－＋ボタン）の[4]（◀）または[6]（▶）を使って液晶画面に“MIDIセッテイ”と表示させます（6ページ）。

2. ⑱（数字、－＋ボタン）の[7]（エンター）を押します。

3. ⑱（数字、－＋ボタン）の[4]（◀）または[6]（▶）を使って液晶画面に“アカンプアウト”と表示させます。

4. ⑱（数字、－＋ボタン）の[＋]を押して、オンに設定します。

本機のデータをパソコンに保存する／本機のソングを増やす

サンプリングした音や録音した曲などのデータをパソコンに転送して保存したり、そのデータをいつでも本機に転送してもどすことができます。また一般的な楽曲MIDIファイル（SMF）や、カシオのホームページからダウンロードしたソングのデータを本機に転送すれば、ソングバンク曲を増やすこともできます。
データの転送には、専用のアプリケーションソフト（データマネージャー）が必要です。

転送できるデータの種類について

転送できるデータの種類は、SDメモリーカードで保存、読み込みできるデータの種類と同じです（52ページ）。ただし録音した曲のデータを、SMFに変換して転送することは、SDメモリーカードへの転送時にのみ可能です。

データマネージャーをダウンロードする

1. 以下のホームページから、データマネージャーと操作マニュアルをダウンロードして、お手持ちのパソコンに保存します。
http://casio.jp/support/emi/

- 本機の製品紹介のページにデータマネージャーのページへのリンクが貼られています。製品紹介のページが見つからない場合は、上記ホームページの検索フォームに本機の製品名を入力して検索してください。
- ダウンロードする前に、データマネージャーを使用するために必要なパソコン環境などについて、必ずご確認ください。
- ホームページの内容は、予告なく変更される場合があります。

2. 手順1でダウンロードした操作マニュアルに従って、データマネージャーをインストールしてから、データ転送を行ってください。

■カシオホームページのソングデータのご利用について

CASIO Music Site（http://music.casio.co.jp/）の以下のサービスから、ソングデータをダウンロードして本機に転送することができます。

- ● インターネット・ソングバンク
- ● インターネット楽譜ナビ

■本機に保存したデータの保持について

乾電池を入れずにACアダプターだけで使用している場合は、ACアダプターの接続が切れると本機に保存したデータが消去されます。

保存した内容を保つためには

- 乾電池とACアダプターの両方をご使用ください。
- ACアダプターを抜くときは、消耗していない乾電池（使用推奨期限内）を入れておいてください。
- 乾電池交換は、ACアダプターを接続した状態で行ってください。

なお、ACアダプターを差したり抜いたりするときや乾電池を交換するときは、❶でいったん電源を切ってから行ってください。

オーディオ機器とつなぐ

市販のステレオやアンプに接続して大きな音量で鳴らしたり、録音機器に接続して本機での演奏を録音したりできます。また、携帯オーディオプレーヤーなどの音を本機で鳴らしながら、それをバックに演奏して楽しむことができます。

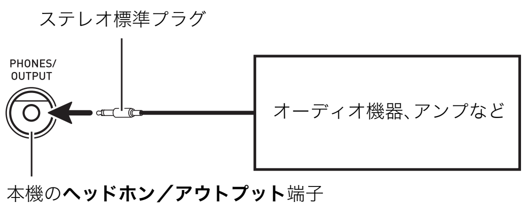
本機の音を外部機器で鳴らす

接続には市販の接続コードが使用できます。

- 片側がステレオ標準プラグ、もう一方は外部機器の入力端子に接続できるものをご用意ください。

重 要

- **接続するときはすべての外部機器の電源を切ってください。また、電源のオンオフ操作のときは本機と外部機器の音量設定を小さめに絞っておいてください。**
- **接続した後は本機、外部機器の順番で電源を入れてください。**
- **外部機器で鳴らした本機の音が歪んだ音で聴こえる場合は、本機の音量を下げてください。**



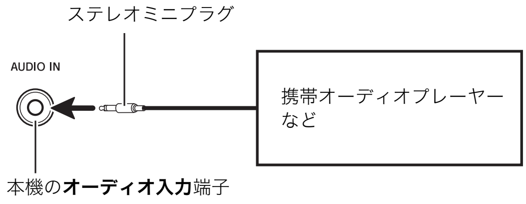
外部機器の音を本機で鳴らす

接続には市販の接続コードが使用できます。

- 片側がステレオミニプラグ、もう一方は外部機器の出力端子に接続できるものをご用意ください。

重 要

- **接続するときは本機の電源を切ってください。また、電源のオンオフ操作のときは本機と外部機器の音量設定を小さめに絞っておいてください。**
- **接続した後は外部機器、本機の順番で電源を入れてください。**
- **本機で鳴らした外部機器の音が歪んだ音で聴こえる場合は、外部機器の音量を下げてください。**



資料

困ったときは

	症状	対策
付属品		
	梱包箱のなかに付属品が見つからない。	緩衝材の中も探してみる。
電源		
	電源が入らない。	• ACアダプターの接続状態や、電池の装着方向が正しいか確認する（8ページ）。 • 新しい電池に交換する。またはACアダプターを使用する（8ページ）。
	大きな音を出すと、突然電源が切れる。	新しい電池に交換する。またはACアダプターを使用する（8ページ）。
	数分ほど弾かないでいると、突然電源が切れる。	オートパワーオフ機能を解除する（10ページ）。
表示		
	数分ほど弾かないでいると、急に鍵盤が光りはじめて、鍵盤やボタンを押すと元に戻る。	電源切り忘れお知らせ機能をオフにする（10ページ）。
	液晶画面の表示が暗くなったり、ちらつくようになった。	新しい電池に交換する。またはACアダプターを使用する（8ページ）。
	液晶画面の鍵盤や楽譜表示で、音の表示が点灯したままになった。	ステップアップレッスンで、次の音の鍵盤が弾かれるのを待っている状態です。レッスンを停止させると、音の表示も消灯します（33ページ）。
	液晶画面の表示が一定の方向からしか見えない。	本機の製造上の制約等によるもので、故障ではありません。
音		
	鍵盤を弾いても音が出ない。	• 音量の設定（10ページ）を変えてみる。 • 本機背面のヘッドホン／アウトプット端子（㊺）にプラグが挿さっていないか確認する。 • 音色番号の571～578番は、サンプリングした音が記録されていない場合には鍵盤を押しても音が鳴りません（21ページ）。 • 本機の電源を入れなおしてみる（10ページ）（各種設定は初期化されます）。
	左側の鍵盤だけ音が出ない（あるいは通常と違う音が鳴る）。	• レッスン機能（31ページ）でソング番号001～085の曲を練習するときは、左側の鍵盤はコード（和音）を入力するため、通常の音は鳴らせなくなります。 • ⓭を押して、自動伴奏のコード入力ができる状態を解除する（39ページ）。
	自動伴奏をスタートしても音が出ない。	• リズム番号の170と172～180は、コードを入力しないと音が鳴らないリズムパターンです。コードを入力してみてください（39ページ）。 • 伴奏の音量の設定（42ページ）を確認して調整する。 • 本機の電源を入れなおしてみる（10ページ）（各種設定は初期化されます）。
	ソングの自動演奏をスタートしても音が出ない。	• ボタンを押してからソングが始まるまでに少し時間がかかります。ソングが始まるまで少しお待ちください。 • 曲の音量の設定（29ページ）を確認して調整する。 • ソング番号の201～210は、ソングデータが保存されていない場合には⓬を押してもソングがスタートしません（29ページ）。 • 本機の電源を入れなおしてみる（10ページ）（各種設定は初期化されます）。
	メトロノームの音が鳴らない。	• 伴奏の音量の設定（42ページ）を確認して調整する。 • 曲の音量の設定（29ページ）を確認して調整する。 • 本機の電源を入れなおしてみる（10ページ）（各種設定は初期化されます）。
	音が鳴りっぱなしで止まらなくなった。	• 本機の電源を入れなおしてみる（10ページ）（各種設定は初期化されます）。 • 新しい電池に交換する。またはACアダプターを使用する（8ページ）。

	症状	対策
	鳴らしている音が途切れてしまう。	同時に鳴っている音の数が48(音色によっては24)を超えると発生します。故障ではありません(別紙「Appendix」の“音色リスト”の“最大同時発音数”をご覧ください)。
	音量や音質が変わってしまった。	• 音量の設定(10ページ)を変えてみる。 • 本機の電源を入れなおしてみる(10ページ)(各種設定は初期化されます)。 • 新しい電池に交換する。またはACアダプターを使用する(8ページ)。
	鍵盤を弾くタッチを変えても、出る音の音量が変わらない。	• タッチレスポンスの設定(11ページ)を変えてみる。 • 本機の電源を入れなおしてみる(10ページ)(各種設定は初期化されます)。
	特定の鍵盤の音量や音質が、他の鍵域の鍵盤と若干違って聴こえる。	本機のシステムの制約等によるもので、故障ではありません。
	端の方の鍵盤を弾いていると、同じオクターブの音が繰り返されるように聴こえる音色がある。	本機のシステムの制約等によるもので、故障ではありません。
	音の高さが他の楽器とあわない(あるいは不自然に聴こえる)。	• トランスポーズ(19ページ)やチューニング(19ページ)の設定を確認して調整する。 • 本機の電源を入れなおしてみる(10ページ)(各種設定は初期化されます)。
	音の響きが急に変わったように感じる。	• リバーブの設定(17ページ)を確認して調整する。 • 本機の電源を入れなおしてみる(10ページ)(各種設定は初期化されます)。
操作		
	ソングの早送りや早戻しをすると、1小節ごとではなく何小節もまとめて移動してしまう。	ソングの停止中、またはステップアップレッスン中に早送りや早戻しをすると、フレーズ単位で移動します(28ページ)。
SDメモリーカード		
	カシオのホームページからダウンロードした曲データなどを、SDメモリーカードから本機に読み込むことができない。	• 読み込みたいデータを、SDメモリーカード内の“MUSICDAT”フォルダ※に入れる(55ページ)。 ※SDメモリーカードを本機でフォーマット(53ページ)すると自動的に作られます。 • 読み込みたいデータの種類をパソコンで確認して(52ページ)、そのデータ種類に応じた操作を本機で行ってからSDメモリーカードを装着する(55ページ「SDメモリーカードのデータを本機に読み込む」)。
パソコンとの接続		
	MIDIデータの送受信ができない。	• 本機とパソコンがUSBケーブルで正しく接続されているか、あるいはパソコンの音楽ソフトの設定でデバイスが正しく選ばれているか確認する(58ページ)。 • 本機の電源を切ってパソコンの音楽ソフトを終了させてから、本機の電源を入れてパソコンの音楽ソフトを再起動させてみる。
	本機とパソコンの間で、データを転送することができない。	転送するには専用のアプリケーションソフト「データマネージャー」が必要です。詳しくは、60ページの「データマネージャーをダウンロードする」をご参照ください。
その他		
	サンプリング音や録音した曲など、本機に記録したデータが消えてしまった。	本機では、ACアダプターと電池を両方とも抜くと、記録したデータが消去されます(8ページ)。

製品仕様

型式	LK-207
鍵盤	61鍵盤
タッチレスポンス機能	2種類、オフ
光ガイド機能	最大同時発光数:10鍵
同時発音数	最大48音(一部音色では最大24音)
音色機能	
プリセット音色	570音色
サンプリング音色	最大8音色(メロディーサンプリング:5、ドラムサンプリング:3)※ 記録時間:最長10秒
その他	レイヤー、スプリット
リバーブ機能	10種類、オフ
コーラス機能	5種類、オフ
ボイスパッド機能	5パッド×4セット (サンプリング用:3セット、パーカッションセット固定:1セット)
メトロノーム機能	
拍子	0、2〜6拍子
テンポ	30〜255
ソングバンク機能	
プリセットソング	200曲
ユーザーソング	最大10曲※
カラオケ機能	
プリセットソング	85曲
ステップアップレッスン機能	
レッスンの種類	4種類(レッスン1/2/3、自動ステップアップレッスン)
レッスンパート	左手、右手、両手
その他	リピート、運指音声、弾くべき音のガイド、採点
ミュージックチャレンジ機能	20音符
自動伴奏機能	
プリセットリズム	180種類
録音機能	リアルタイム録音、再生
鍵盤演奏録音	5曲、6トラック
ソングバンク曲にあわせての録音	1曲(左、右、左右)
メモリー容量	約12,000音符(6曲合計)
その他の機能	
トランスポーズ	±1オクターブ(−12 〜 0 〜 +12半音)
オクターブシフト	アッパー・ロワー、±2オクターブ
チューニング	A4=約440Hz ±100セント
プリセットスケール	17種類
ミュージック プリセット	305種類
ワンタッチプリセット	180種類
オートハーモナイズ	12種類
アルペジエーター	90種類
MIDI機能	16chマルチティンバー受信、GMレベル1準拠
ミュージカルインフォメーション機能	音色・自動伴奏・ソングバンクの番号および名称、五線譜、運指、ペダル、テンポ、 小節数・拍子、コード名等

SDメモリーカード	
使用できるSDメモリーカード	2GB以下
機能	SMF再生、ファイルの保存・読み込み・消去、カードフォーマット
端子	
USB端子	タイプB
サスティン／アサイナブル端子	標準ジャック（サスティン、ソステヌート、ソフト、スタート／ストップ）
ヘッドホン／アウトプット端子	ステレオ標準ジャック 出力インピーダンス：200Ω、出力電圧：4.5V（RMS）MAX
オーディオ入力端子	ステレオミニジャック 入力インピーダンス：9kΩ、入力感度：200mV
マイク入力端子	標準ジャック 入力インピーダンス：3kΩ、入力感度：10mV
電源端子	DC9V
電源	2電源方式
電池	単1形マンガン乾電池又は単1形アルカリ乾電池6本使用
	電池持続時間：約5時間（マンガン乾電池使用時）
家庭用AC100V電源	ACアダプターAD-5JL使用
オートパワーオフ機能	約6分後（乾電池使用時）、キャンセル可能
スピーカー	12cm×2（出力：2.5W＋2.5W）
消費電力	9V ⎓ 7.7W
サイズ幅	幅95.0×奥行き37.6×高さ13.0cm
質量	約5.0kg（乾電池含まず）

- 改良のため、仕様およびデザインの一部を予告なく変更することがあります。

※これらのデータ（サンプリング音色、ユーザーソング）は、共通のメモリーエリアに保存されます。
- メモリー総容量：約320キロバイト（1キロバイト＝1024バイト）

エラーメッセージ一覧

液晶画面の表示	原因	対策
Err カードアクセス	SDメモリーカードが壊れている。	別のSDメモリーカードを使う。
Err カードナシ	1. SDメモリーカードがカードスロットに正しくセットされていない。 2. 操作の途中でSDメモリーカードが抜き差しされた。	1. SDメモリーカードをカードスロットに正しくセットする(53ページ)。 2. 操作の途中でSDメモリーカードを動かさない。
Err カードフル	SDメモリーカードの空き領域が足りない。	• SDメモリーカードに保存されているファイルを消去して、空き領域を増やす(56ページ)。 • 別のSDメモリーカードを使う。
Err サイズオーバ	SDメモリーカードのソングデータのサイズが大きすぎて、本機で再生できない。	本機では最大で約320キロバイトのソングデータまで再生できます。
Err ステデニワリアテ	サンプルドドラムセット音色のコピー(24ページ)で、コピー先として選んだ鍵盤に他のサンプリング音が記録されているため、コピーすることができない。	• 記録されているサンプリング音を消去する(24ページ)。 • サンプリング音が記録されていない他の鍵盤をコピー先として選ぶ。
Err データナシ	本機で選んだユーザーエリア(音色、ソング番号など)にデータが入っていない。	データが保存されている本機のユーザーエリアを選ぶ。
Err データフリョウ	1. SDメモリーカードのデータが壊れている。 2. SDメモリーカードのデータが本機で操作できない内容になっている。	ー
Err ファイルナシ	SDメモリーカード内に"MUSICDAT"フォルダが存在しない。	• パソコンでSDメモリーカード内に"MUSICDAT"フォルダを作成する(55ページ)。 • SDメモリーカードを本機でフォーマットする(53ページ)。
Err フォーマット	1. SDメモリーカードのフォーマットが本機に適合していない。 2. SDメモリーカードが壊れている。	1. 本機でSDメモリーカードをフォーマットする(53ページ)。 2. 別のSDメモリーカードを使う。
Err プロテクト	1. SDメモリーカードが書き込み禁止になっている。 2. サンプリング音色がプロテクトされている。	1. SDメモリーカードのプロテクトスイッチを調整して書き込みできるようにする。 2. サンプリング音色のプロテクトを解除して、上書き保存または消去できるようにする。
Err ヘンカン	録音した曲のデータをSMFに変換してSDメモリーカードに保存するために必要な、本機のメモリー空き領域が不足している。	本機に保存している以下のユーザーデータのいずれかを消去して、メモリー空き領域を増やす。 サンプリング音(26ページ)、ユーザーソング(50ページ)
Err メモリーフル	1. SDメモリーカードのソングデータを再生するために必要な、本機のメモリー空き領域が不足している。 2. サンプリング音を編集するために必要な、本機のメモリー空き領域が不足している。	本機に保存している以下のユーザーデータのいずれかを消去して、メモリー空き領域を増やす。 サンプリング音(26ページ)、ユーザーソング(50ページ)
Err モウデキマセン	ドラムサンプリングを開始する前に選んだ音色番号に、すでに8種類(記録できる限界数)のサンプリング音が記録されているため、これ以上記録することができない。	• 記録されているサンプリング音のいずれかを消去する(24ページ)。 • 8種類のサンプリング音まで記録されていない他の音色番号を選ぶ(23ページ)。
Err リードセンヨウ	SDメモリーカードに保存されている読み込み専用ファイルと同じ名前で、データを保存しようとしている。	• 別の名前に変えて保存する。 • SDメモリーカードのファイルの読み込み専用属性をはずして、上書き保存する。 • 別のSDメモリーカードを使う。
Err NotSMF01	SMFフォーマット2のソングデータを再生しようとした。	本機で再生できるSMFのフォーマットは、0または1です。

ソングリスト

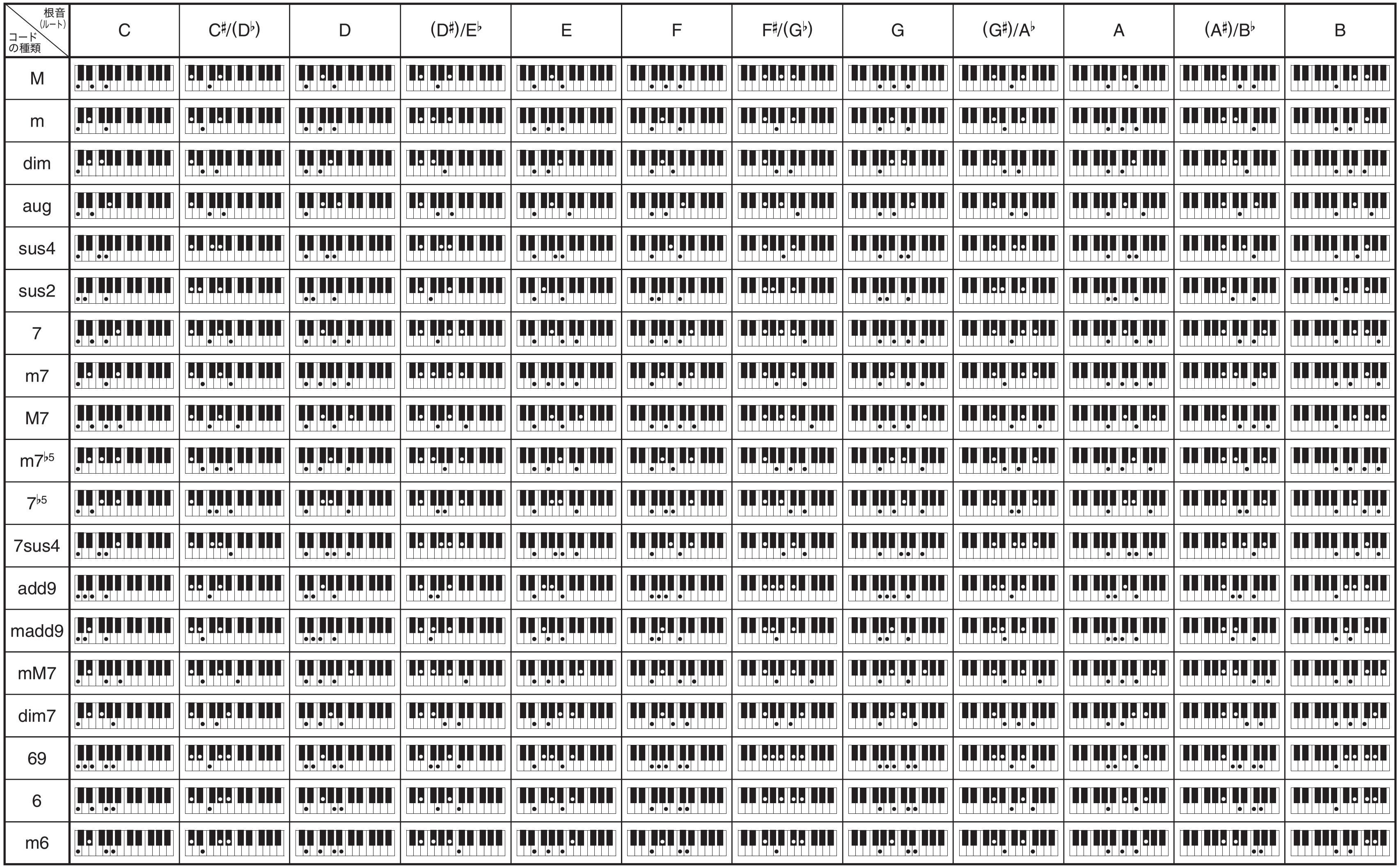
- 製品に印刷されているソングリストは、お勧めの曲のみを抜粋したものです。全曲のリストは下記をご参照ください。

ソングバンク

No.	曲名	楽譜集 名称	楽譜集 No.	歌詞集
	ポップス			
001	Believe	Song Book 2	1	Lyric Book
002	Ti Amo	Song Book 2	2	Lyric Book
003	ChaNge the WoRLd	Song Book 2	3	Lyric Book
004	キセキ	Song Book 2	4	Lyric Book
005	そばにいるね	Song Book 2	5	Lyric Book
006	蕾	Song Book 2	6	Lyric Book
007	HANABI	Song Book 2	7	Lyric Book
008	ニホンノミカタ ーネバダカラキマシター	Song Book 2	8	Lyric Book
009	手紙～拝啓 十五の君へ～	Song Book 2	9	Lyric Book
010	愛のままで…	Song Book 2	10	Lyric Book
011	千の風になって	Song Book 2	11	Lyric Book
012	旅立ちの日に	Song Book 2	12	Lyric Book
	アニメ／スクリーン			
013	おくりびと	Song Book 2	13	−
014	ダンシング・クイーン「マンマ・ミーア！」より	−	−	−
015	崖の上のポニョ	Song Book 2	15	Lyric Book
016	Let's！フレッシュプリキュア！	Song Book 2	16	Lyric Book
017	夢をかなえてドラえもん	Song Book 2	17	Lyric Book
018	アンパンマンのマーチ	Song Book 2	18	Lyric Book
019	さんぽ「となりのトトロ」より	Song Book 2	19	Lyric Book
020	星に願いを	Song Book 2	20	Lyric Book
	日本の歌			
021	春がきた	Song Book 2	21	Lyric Book
022	春の小川	Song Book 2	22	Lyric Book
023	おぼろ月夜	Song Book 2	23	Lyric Book
024	早春賦	Song Book 2	24	Lyric Book
025	花	Song Book 2	25	Lyric Book
026	こいのぼり	Song Book 2	26	Lyric Book
027	茶つみ	Song Book 2	27	Lyric Book
028	かたつむり	Song Book 2	28	Lyric Book
029	もみじ	Song Book 2	29	Lyric Book
030	荒城の月	Song Book 2	30	Lyric Book
031	冬景色	Song Book 2	31	Lyric Book
032	浜辺の歌	Song Book 2	32	Lyric Book
033	宵待草	Song Book 2	33	Lyric Book
034	ふじ山	Song Book 2	34	Lyric Book
035	げんこつ山のたぬきさん	Song Book 2	35	Lyric Book
	世界の曲			
036	きらきら星	Song Book	1	Lyric Book
037	ちょうちょう	Song Book	2	Lyric Book
038	ロング・ロング・アゴー	Song Book	3	Lyric Book
039	オン・トップ・オブ・オールド・スモーキー	Song Book	4	Lyric Book
040	さくら さくら	Song Book	5	Lyric Book
041	聖者の行進	Song Book	6	Lyric Book
042	アメイジング・グレイス	Song Book	7	Lyric Book
043	ほたるの光	Song Book	8	Lyric Book
044	ぶんぶんぶん	Song Book	9	Lyric Book
045	かわいいオーガスチン	Song Book	10	Lyric Book
046	こげよマイケル	Song Book	11	Lyric Book
047	ダニー・ボーイ	Song Book	12	Lyric Book
048	マイ・ボニー	Song Book	13	Lyric Book
049	埴生の宿	Song Book	14	Lyric Book
050	オーラ・リー	Song Book	15	Lyric Book
051	峠の我が家	Song Book	16	Lyric Book
052	アロハ・オエ	Song Book	17	Lyric Book
053	サンタ・ルチア	Song Book	18	Lyric Book
054	ふるさと	Song Book	19	Lyric Book
055	グリーンスリーブス	Song Book	20	Lyric Book
056	ジェリコの戦い	Song Book	21	Lyric Book
057	パン屋さん	Song Book	22	Lyric Book
058	ロンドン橋	Song Book	23	Lyric Book
059	大きな栗の木の下で	Song Book	24	Lyric Book
060	森のくまさん	Song Book	25	Lyric Book
061	大きな古時計	Song Book	26	Lyric Book
062	アニー・ローリー	Song Book	27	Lyric Book
063	夢路より	Song Book	28	Lyric Book
064	しあわせなら手をたたこう	Song Book	29	Lyric Book
065	愛しのクレメンタイン	Song Book	30	Lyric Book
066	茶色のこびん	Song Book	31	Lyric Book
067	朝日のあたる家	Song Book	32	Lyric Book
068	黄色いリボン	Song Book	33	Lyric Book
069	アルプス一万尺	Song Book	34	Lyric Book
070	ケンタッキーの我が家	Song Book	35	Lyric Book
071	森へ行きましょう	Song Book	36	−
072	トロイカ	Song Book	37	Lyric Book
073	ワルツィング・マチルダ	Song Book	38	Lyric Book
074	アビニョンの橋で	Song Book	39	Lyric Book
075	線路は続くよどこまでも	Song Book	40	Lyric Book
076	おおスザンナ	Song Book	41	Lyric Book
077	草競馬	Song Book	42	Lyric Book
078	金髪のジェニー	Song Book	43	Lyric Book
079	わらの中の七面鳥	Song Book	44	Lyric Book
080	さらばジャマイカ	Song Book	45	Lyric Book
	イベント			
081	きよしこの夜	Song Book	46	Lyric Book
082	おめでとうクリスマス	Song Book	47	Lyric Book
083	ジングル・ベル	Song Book	48	Lyric Book
084	もろびとこぞりて	Song Book	49	Lyric Book
085	もみの木	Song Book	50	Lyric Book
	ピアノ／クラシック			
086	メリーさんのひつじ	Song Book	51	−
087	白鳥「動物の謝肉祭」より	Song Book	52	−
088	ジュ・トゥ・ヴ	Song Book	53	−
089	ソナタ 作品１３「悲愴」第２楽章	Song Book	54	−
090	野ばら	Song Book	55	−
091	Ｇ線上のアリア	Song Book	56	−
092	春「四季」より	Song Book	57	−
093	ハバネラ 歌劇「カルメン」より	Song Book	58	−
094	乾杯の歌 歌劇「椿姫」より	Song Book	59	−
095	ハンガリー舞曲 第５番	Song Book	60	−
096	ト長調のメヌエット	Song Book	61	−
097	二長調のミュゼット	Song Book	62	−
098	ガボット（ゴセック）	Song Book	63	−
099	アラベスク（ブルクミュラー）	Song Book	64	−
100	チョップスティックス	Song Book	65	−
101	ひいらぎかざろう	Song Book	66	−
102	喜びの歌	Song Book	67	−

No.	曲名	楽譜集		歌詞集
		名称	No.	
103	アヴェ・マリア（グノー）	Song Book	68	–
104	ソナチネ 作品３６の１ 第１楽章	Song Book	69	–
105	プレリュード 作品２８の７（ショパン）	Song Book	70	–
106	夢	Song Book	71	–
107	ジムノペディ 第１番	Song Book	72	–
108	家路「新世界から」より	Song Book	73	–
109	エリーゼのために	Song Book	74	–
110	トルコ行進曲（モーツァルト）	Song Book	75	–
111	ソナタ 作品２７の２「月光」第１楽章	Song Book	76	–
112	別れの曲	Song Book	77	–
113	エンターテイナー	Song Book	78	–
114	結婚行進曲「真夏の夜の夢」より	Song Book	79	–
115	アメリカン・パトロール	Song Book	80	–
116	楽しき農夫	Song Book	81	–
117	貴婦人の乗馬	Song Book	82	–
118	ソナタ Ｋ．５４５ 第１楽章	Song Book	83	–
119	乙女の祈り	Song Book	84	–
120	小犬のワルツ	Song Book	85	–
121	愛の夢 第３番	Song Book	86	–
122	主よ、人の望みの喜びよ	Song Book	87	–
123	カノン（パッヘルベル）	Song Book	88	–
124	セレナード「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より	Song Book	89	–
125	行進曲「くるみ割り人形」より	Song Book	90	–
126	子供の集会	Song Book 2	126	–
127	無邪気	Song Book 2	127	–
128	進歩	Song Book 2	128	–
129	清い流れ	Song Book 2	129	–
130	せきれい	Song Book 2	130	–
131	なぐさめ	Song Book 2	131	–
132	小さな嘆き	Song Book 2	132	–
133	おしゃべり	Song Book 2	133	–
134	心配	Song Book 2	134	–
135	アヴェ・マリア（ブルクミュラー）	Song Book 2	135	–
136	天使の声	Song Book 2	136	–
137	帰途	Song Book 2	137	–
138	つばめ	Song Book 2	138	–
139	インヴェンション 第１番	Song Book 2	139	–
140	プレリュード 第１番（Ｊ．Ｓ．バッハ）	Song Book 2	140	–
141	ソナチネ 作品２０の１ 第１楽章	Song Book 2	141	–
142	花の歌	Song Book 2	142	–
143	ユーモレスク（ドヴォルザーク）	Song Book 2	143	–
144	人形の夢と目覚め	Song Book 2	144	–
145	亜麻色の髪の乙女	Song Book 2	145	–
146	アラベスク 第１番（ドビュッシー）	Song Book 2	146	–
147	トロイメライ	Song Book 2	147	–
148	メープル・リーフ・ラグ	Song Book 2	148	–
149	クシコス・ポスト	Song Book 2	149	–
150	ノクターン 作品９の２（ショパン）	Song Book 2	150	–
	脳にキク			
151 ～ 200	脳にキク 1～50	–	–	–
	ユーザーソング			
201 ～ 210	ユーザー 1～10	–	–	–

コード例一覧



• コード入力鍵盤の範囲などの制約により、一部のコードでは上記のとおりに指定できない場合があります。

保証・アフターサービスについて

保証書はよくお読みください

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間は保証書に記載されています

修理を依頼されるときは

まず、もう一度、取扱説明書に従って正しく操作していただき、直らないときには次の処置をしてください。

● 保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ修理相談窓口が修理をさせていただきます。

- 保証書に「持込修理」と記載されているものは、製品に保証書を添えてご持参またはご送付ください。
- 保証書に「出張修理」と記載されているものは、お買い上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ修理相談窓口までご連絡ください。

● 保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ修理相談窓口までご連絡ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

当商品は「出張修理」「持込修理」のいずれも受け付けております。修理をお急ぎの場合には、事前に最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にご相談ください。お客様のご希望に沿った修理方法をご案内させていただきます。

あらかじめご了承いただきたいこと

- 「修理のとき一部代替部品を使わせていただくこと」や「修理が困難な場合には、修理せず同等品と交換させていただくこと」があります。
  また、特別注文された製品の修理では、ケースなどをカシオ純正部品と交換させていただくことがあります。
- 修理のとき、交換した部品を再生、再利用する場合があります。修理受付時に特段のお申し出がない限り、交換した部品は弊社にて引き取らせていただきます。
- 録音機能などのデータ記憶機能付きのモデルでは、修理のとき、故障原因の解析のため、データを確認させていただくことがあります。
- 日本国内向けの製品は海外での修理受付ができません。修理品は日本まで移動の上、日本国内のカシオテクノ修理相談窓口にご依頼ください。

アフターサービスなどについておわかりにならないときは

お買い上げの販売店または取扱説明書等に記載ののカシオテクノ修理相談窓口にお問い合わせください。

Model: LK-207 Version : 1.0

MIDI インプリメンテーション・チャート

ファンクション		送　信	受　信	備　考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能範囲	1 1 〜 16	1 〜 16 1 〜 16	
モード	電源ON時 メッセージ 代　用	モード3 × ＊＊＊＊＊＊＊	モード3 × ＊＊＊＊＊＊＊	
ノート ナンバー	音　域	12 〜 120 ＊＊＊＊＊＊＊	0 〜 127 0 〜 127 *1	
ベロシティ	ノートオン ノートオフ	○ 9nH v = 1 〜 127 × 9nH v = 0	○ 9nH v = 1 〜 127 × 9nH v = 0, 8nH v =**	**は関係なし
アフター タッチ	キー別 チャンネル別	× ×	× ○	
ピッチベンド		×	○	
コントロール チェンジ	0, 32 1 6, 38 7 10 11 64	○ × × ○ ○ × ○*3	○（MSBのみ） ○ ○*2 ○ ○ ○ ○	バンクセレクト モジュレーション データエントリー ボリューム パン エクスプレッション ホールド 1

66 67 91 93 100, 101 120 121	○*3 ○*3 × ○ × × ○	○ ○ ○ ○ ○*2 ○ ○	ソステヌート ソフト リバーブセンド コーラスセンド RPN LSB, MSB オールサウンドオフ リセットオールコントローラー
プログラムチェンジ 設定可能範囲	○ 0 ～ 127 ✻✻✻✻✻✻✻	○ 0 ～ 127	
エクスクルーシブ	○*4	○*5 *6	
コモン ソングポジション ソングセレクト チューン	× × ×	× × ×	
リアル タイム クロック コマンド	○ ○	× ×	
その他 ローカル オン／オフ オールノートオフ アクティブセンシング リセット	× ○ × ×	× ○ ○ ×	
備　考	*1: 音色による *2: RPN：ピッチベンドセンシティビティ、ファインチューン、コースチューン *3: アサイナブル端子の設定により択一 *4: 送信するユニバーサルシステムエクスクルーシブメッセージ： マスターファインチューン、マスターコースチューン、リバーブタイム、コーラスタイプ *5: 受信するユニバーサルシステムエクスクルーシブメッセージ： GM システムオン／オフ、GM2 システムオン、マスターボリューム、マスターファインチューン、マスターコースチューン、 リバーブタイム、コーラスタイプ、コーラスモジュレーションレート *6: 本機固有のシステムエクスクルーシブメッセージ 本機の MIDI 仕様の詳細は、MIDI インプリメンテーション（http://casio.jp/support/emi/）をご覧ください。		

モード1：オムニ・オン、ポリ　　モード2：オムニ・オン、モノ　　○：あり
モード3：オムニ・オフ、ポリ　　モード4：オムニ・オフ、モノ　　×：なし

CASIO®

カシオ計算機株式会社
〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

F MA0905-A Printed in China
LK207JA1A